2027（令和9）年度

学校推薦型選抜
学生募集要項



北方キャンパス



ひびきのキャンパス

公立大学法人
北九州市立大学
THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU

目　　次

A　試験概要

1　実施日程・募集人員 …… 1
2　推薦要件・基礎学力テスト等 …… 2
3　合否判定基準 …… 8

B　出願

1　出願方法 …… 9
2　出願期間等 …… 10
3　出願書類 …… 11
4　出願上の注意 …… 12
5　受験票について …… 13
6　出願状況ホームページ掲載 …… 13
7　受験及び修学上の配慮について …… 13
8　個別の入学資格審査について …… 13
9　入学検定料の免除について …… 13

C　試験

1　受験上の注意 …… 14
2　試験会場、下見日時 …… 15

D　試験後

1　合格発表 …… 15
2　入学手続 …… 15
3　入学前教育 …… 16
4　入学金等納入金一覧 …… 16
5　年間授業料 …… 17

E　入試における感染防止対策について …… 17

F　その他

1　教育目的 …… 18
2　アドミッション・ポリシー …… 19
3　ディプロマ・ポリシー …… 24
4　入試情報の成績開示について …… 27
5　個人情報の取扱いについて …… 28
6　個人用ノートパソコンの必携について …… 28
7　情報イノベーション学部設置のお知らせ …… 28

【各種様式】

・被推薦者名簿（高等学校長へのお願い）【外国語・経済・文・法・情報イノベーション学部、地域創生学群用】
・被推薦者名簿（高等学校長へのお願い）【国際環境工学部用】
・推薦書（外国語学部英米学科用）
・入学希望理由書(外国語学部英米学科 全国推薦用) 様式１
・推薦書（外国語学部中国学科用）
・入学希望理由書（外国語学部中国学科用) 様式２
・推薦書（外国語学部国際関係学科用）
・推薦書（経済学部用）
・資格取得等申告書（経済学部・推薦書別紙）
・推薦書（文学部用）
・活動・資格等の実績に関する資料（文学部 特別推薦用）
・活動についての自己評価、入学希望理由書等（文学部 特別推薦用) 様式３
・推薦書（法学部用）
・資格取得等申告書（法学部・推薦書別紙）
・推薦書（地域創生学群用）
・活動実績に関する資料（地域創生学群 特別推薦用）
・入学希望理由書(地域創生学群 全国推薦・特別推薦用) 様式４
・全国推薦（地方創生推薦）出願時における事前課題
・推薦書（国際環境工学部用）
・入学希望理由書(国際環境工学部用) 様式５
・推薦書（情報イノベーション学部用）
・資格取得等申告書（情報イノベーション学部・推薦書別紙）

A 試験概要

1 実施日程・募集人員

出願期間	2026年11月2日(月)～11月 9日(月)必着					
受験票印刷可能期間	2026年11月16日(月)～2027年1月22日(金)					
試験日	2026年11月29日(日)					
学部等	学科等	推薦区分	募集人員	集合	試験科目	試験時間
外国語学部	英米学科	全国推薦	18	北方キャンパス本館 9：00集合	英語による面接	9：30～
		地域推薦	9		英語による小論文	9：30～11：00
	中国学科	全国推薦	10		小論文	9：30～11：00
	国際関係学科	全国推薦	20		小論文	9：30～11：30
経済学部		全国推薦	50		小論文	9：30～11：00
		地域推薦	58			
		商業科・総合学科推薦	28			
文学部	比較文化学科	全国推薦	27		小論文	9：30～11：30
		地域推薦	29			
		特別推薦	4			
	人間関係学科	全国推薦	13			
		地域推薦	12			
		特別推薦	5			
法学部	法律学科	全国推薦	57		小論文	9：30～11：00
	政策科学科	全国推薦	22			
地域創生学群	地域創生学類	全国推薦	10	北方キャンパス本館※	プレゼンテーション及び口頭試問	※
		特別推薦	10		口頭試問	
情報イノベーション学部		全国推薦	30		小論文 面接	※
		地域推薦	20		面接	
国際環境工学部	環境化学工学科	全国推薦	5	ひびきのキャンパス 9：30集合	化学 面接	10：00～12：00 13：30～
	機械システム工学科	全国推薦	5		総合問題 面接	10：00～12：00 13：30～
	建築デザイン学科	全国推薦	6			
	生命工学科	全国推薦	5		小論文 面接	10：00～11：30 13：30～
合格発表	2026年12月11日(金)					
入学手続期間	2027年1月19日(火)～1月22日(金)					

※ 地域創生学群、情報イノベーション学部の集合時間、試験時間については、受験票に記載のホームページアドレスから事前にご確認ください。

2　推薦要件・基礎学力テスト等

ア　表中の高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、高等専門学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程等を含みます。
なお、これら以外の学校を卒業した者及び2027年３月に卒業見込みの者は、本学において入学資格審査を行い、認められれば高等学校を卒業した者又は卒業見込みの者と同等であるとみなします。
また、表中の「卒業」は、高等専門学校においては「３年次修了」と読み替えてください。
イ　大学入学共通テストは課しません。
ウ　複数の学部（学群）・学科（学類）・推薦種別間で併願はできません。

外国語学部

学科	推薦種別	募集人員	推薦要件			学校長推薦枠	選考方法	基礎学力テスト等		
			基礎要件	適性要件等	成績要件				時間	配点
英米学科	全国推薦	18	高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者で次のいずれかの公的な資格を取得した個人（記載レベル以上） ・実用英語技能検定（英検）：準1級（注1） ・TOEFL iBT:68点（旧）（注2） ・TOEFL iBT:3.5点（新）（注2） ・TOEIC L&R:640点（注2） ・GTEC:1230点（注3） ※資格を証明する書類の写しを提出すること（注４）	次のいずれにも該当すること ①当該学科への入学意欲が強く、学業成績・人物ともに優れ、当該学科での勉学に適性があること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の全体の評定平均値が3.5以上であること	制限なし	英語による面接と調査書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。	英語による面接（注５） 調査書	－	240 60
	地域推薦	9	次のいずれかに該当する者 ①北九州市内に所在する高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者 ②北九州市外に所在する高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者で、2026年４月１日以前から引き続き北九州市内に住所を有するもの（注４）		調査書の全体の評定平均値が3.7以上で、なおかつ外国語（英語）の評定平均値が4.0以上であること	１高等学校あたり３名	英語による小論文の成績と推薦書、調査書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。	英語による小論文 推薦書 調査書	90分	200 30
中国学科	全国推薦	10	次のいずれかに該当する者 ①高等学校を卒業した者 ②高等学校を2027年３月に卒業見込みの者		調査書の全体の評定平均値が3.8以上であること	１高等学校あたり２名	小論文の成績と推薦書、調査書、入学希望理由書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。 なお、高度な外国語能力を持つ志願者については、推薦書、調査書の点数化にあたり特に評価する。 英語（例：実用英語技能検定（S-CBT含む））のほか、中国語、韓国語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語等についても考慮する。 ※語学の検定試験の結果（合否問わず）やスコアを証明する書類を提出すること。なお、書類の提出がない場合は、推薦書・調査書に記載があっても評価の対象となりません。	小論文 推薦書 調査書 入学希望理由書	90分	200 100

外国語学部（続き）

学科	推薦種別	募集人員	推薦要件			学校長推薦枠	選考方法	基礎学力テスト等		
			基礎要件	適性要件等	成績要件				時間	配点
国際関係学科	全国推薦	20	次のいずれかに該当する者 ①高等学校を卒業した者 ②高等学校を2027年3月に卒業見込みの者	次のいずれにも該当すること ①当該学科への入学意欲が強く、学業成績・人物ともに優れ、当該学科での勉学に適性があること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の全体の評定平均値が3.8以上であること	1高等学校あたり2名	小論文の成績と推薦書、調査書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。なお、高度な外国語能力を持つ志願者については、推薦書、調査書の点数化にあたり特に評価する。 英語（例：実用英語技能検定（S-CBT含む））のほか、中国語、韓国語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語等についても考慮する。 ※語学の検定試験の結果（合否問わず）やスコアを証明する書類を提出すること。なお、書類の提出がない場合は、推薦書・調査書に記載があっても評価の対象となりません。	小論文 推薦書 調査書	120分	100 50

（注1） 実用英語技能検定（英検）は英検S-CBTを含みます。なお、デジタル証明書での提出は認めません。
（注2） TOEFL、TOEICの成績は、出願時から遡って2年間の成績を有効とします。提出すべき成績通知書は、TOEFL「Test Taker Score Report（Test Dateスコア）」、TOEIC「公式認定証」とします。TOEFLは iBT、TOEICはL&Rを対象とします。TOEFL ITP、TOEIC IPでは出願できません。（旧）は2026年1月20日までに受験した成績、（新）は2026年1月21日以降に受験した成績を対象とします。
（注3） GTECはオフィシャルスコアに限ります（CBTタイプを含む）。
（注4） 全国推薦と地域推薦の両方の推薦要件を満たす場合は、いずれかを選択することができます。
（注5） 推薦書・入学希望理由書は面接の際の資料とします。

経済学部

学部	推薦種別	募集人員	推薦要件			学校長推薦枠	選考方法	基礎学力テスト等		
			基礎要件	適性要件等	成績要件				時間	配点
経済学部	全国推薦	50	高等学校を2027年3月に卒業見込みの者（商業の科目を20単位以上修得見込みの者を除く。）（注1、注2）	次のいずれにも該当すること ①当該学部への入学意欲が強く、当該学部での勉学に適性があること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の全体の評定平均値が3.8以上であること	1高等学校あたり2名	小論文の成績と推薦書、調査書、資格取得等申告書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。	小論文 推薦書 調査書 資格取得等申告書	90分	100 25
	地域推薦	58	次のいずれかに該当する者 ①北九州市内に所在する高等学校を2027年3月に卒業見込みの者（商業の科目を20単位以上修得見込みの者を除く。） ②北九州市外に所在する高等学校を2027年3月に卒業見込みの者（商業の科目を20単位以上修得見込みの者を除く。）で、2026年4月1日以前から引き続き北九州市内に住所を有するもの（注1、注2）			1高等学校あたり6名				
	商業科・総合学科推薦	28	高等学校を2027年3月に卒業見込みの者で、商業に関する科目を20単位以上修得見込みのもの（注2）		調査書の全体の評定平均値が4.3以上であること	1高等学校あたり4名				

（注1）地域推薦に出願できる者は全国推薦の推薦要件も満たしているので、いずれかを選択することができます。
（注2）卒業見込みの者には、留学等により2026年4月1日以降に高等学校を卒業できる者を含みます。

文学部

<table>
<tr><th rowspan="2">学　科</th><th rowspan="2">推薦種別</th><th rowspan="2">募集人員</th><th colspan="3">推　薦　要　件</th><th rowspan="2">学校長推薦枠</th><th rowspan="2">選考方法</th><th rowspan="2">基礎学力テスト等</th><th>基礎学力テスト等</th><th></th></tr>
<tr><th>基　礎　要　件</th><th>適性要件等</th><th>成績要件</th><th></th><th>時間</th><th>配点</th></tr>
<tr><td>比較文化学科</td><td rowspan="2">全国推薦</td><td>27</td><td rowspan="2">高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者で、地域推薦の基礎要件に該当しないもの　（注1）</td><td rowspan="4">次のいずれにも該当すること
①当該学科への入学意欲が強く、当該学科での勉学に適性があること
②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること
③合格した場合は、入学を確約できる者であること</td><td rowspan="3">調査書の全体の評定平均値が3.5以上であること</td><td>1高等学校あたり4名</td><td rowspan="3">小論文の成績と推薦書、調査書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。</td><td rowspan="3">小論文
推薦書
調査書</td><td rowspan="3">120分</td><td rowspan="3">200
30</td></tr>
<tr><td>人間関係学科</td><td>13</td><td>1高等学校あたり2名</td></tr>
<tr><td>比較文化学科</td><td rowspan="2">地域推薦</td><td>29</td><td rowspan="2">次のいずれかに該当する者
①北九州市内に所在する高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者
②北九州市外に所在する高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者で、2026年4月1日以前から引き続き北九州市内に住所を有するもの　（注1）</td><td>1高等学校あたり6名</td></tr>
<tr><td>人間関係学科</td><td>12</td><td>1高等学校あたり3名</td></tr>
<tr><td>比較文化学科</td><td rowspan="2">特別推薦</td><td>4</td><td rowspan="2">高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者で、次のいずれかの要件を満たすもの
①高等学校在学中に文化系活動において、都道府県大会6位以内又はそれと同等以上の優秀な成績を修めた出場部員
種目例：合唱、吹奏楽、書道、絵画、演劇、放送、英語弁論等
②高等学校在学中に体育系活動において、都道府県大会8位以内又はそれと同等以上の優秀な成績を修めた出場選手
種目例：野球（硬式・軟式）、テニス（硬式・軟式）、サッカー、ラグビー、バスケットボール、卓球等
③高等学校在学中に継続した社会活動において、優れた実績を残し又は特別な能力を発揮した個人
（活動例）
・日本赤十字社の奉仕活動
・共同募金会の奉仕活動
・校内外におけるボランティア活動
④高等学校在学中に次のような資格を取得した個人
例（記載レベル同等以上）
・実用英語技能検定（英検）：準1級（注2）
・TOEFL iBT：61点（旧）（注3）
・TOEFL iBT：3.5点（新）（注3）
・TOEIC L&R：620点（注3）
・GTEC：1150点（注4）
・実用フランス語技能検定：準1級
・ドイツ語技能検定：準1級
・スペイン語技能検定：2級
・中国語検定：準2級
・各種ワープロ検定：1級
・基本情報技術者　　等
※別に活動（又は資格）を証明する書類を提出すること</td><td rowspan="2">調査書の全体の評定平均値が3.0以上であること</td><td rowspan="2">1高等学校あたり各学科2名</td><td rowspan="2">小論文の成績、推薦書、活動・資格等の実績、調査書等を総合的に判断して合格者を決定する。</td><td rowspan="2">小論文
推薦書
活動・資格等の実績
調査書
入学希望理由書</td><td rowspan="2">120分</td><td rowspan="2">－</td></tr>
<tr><td>人間関係学科</td><td>5</td></tr>
</table>

（注1）地域推薦の推薦要件を満たす者の全国推薦出願を認めません。
（注2）実用英語技能検定（英検）は英検S-CBTを含みます。なお、デジタル証明書での提出は認められません。
（注3）提出すべき成績通知書は、TOEFL では「Test Taker Score Report（Test Dateスコア）」、TOEIC では「公式認定証」とします。TOEFLはiBT、TOEICはL&Rを対象とします。TOEFL ITP、TOEIC IPでは出願できません。（旧）は2026年1月20日までに受験した成績、（新）は2026年1月21日以降に受験した成績を対象とします。
（注4）GTECはオフィシャルスコアに限ります（CBTタイプを含む）。

法学部

学科	推薦種別	募集人員	推薦要件			学校長推薦枠	選考方法	基礎学力テスト等		
			基礎要件	適性要件等	成績要件				時間	配点
法律学科	全国推薦	57	高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者	次のいずれにも該当すること ①法学部への入学意欲が強く、学業成績・人物ともに優れ当該学科での勉学に適性があること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の全体の評定平均値が3.8以上であること	制限なし	小論文の成績と推薦書、調査書、資格取得等申告書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。	小論文 推薦書 調査書 資格取得等申告書	90分	300 100
政策科学科		22								

地域創生学群

学類	推薦種別	募集人員	推薦要件			学校長推薦枠	選考方法	基礎学力テスト等		
			基礎要件	適性要件等	成績要件				時間	配点
地域創生学類	全国推薦（地方創生推薦）	10	高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者	次のいずれにも該当すること ①地域の課題に対して強い関心を持っており、地域の課題解決に向けた取り組みのアイディアや能力を持っている者であること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の学習成績概評がA段階に属すること	1高等学校あたり1名	事前課題に基づくプレゼンテーション及び口頭試問、推薦書、調査書、入学希望理由書をもとに、総合的に判断して合格者を決定する。	プレゼンテーション及び口頭試問 事前課題 推薦書 調査書 入学希望理由書	－	200
	特別推薦（活動実績推薦）	10	高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者で、次のいずれかの要件を満たすもの ①高等学校在学中に文化系活動において、都道府県大会6位以内又はそれと同等以上の優秀な成績を修めた出場部員 ②高等学校在学中に体育系活動において、都道府県大会8位以内又はそれと同等以上の優秀な成績を修めた出場選手 ③高等学校在学中に継続した社会活動において、優れた実績を残し又は特別な能力を発揮した個人 ※別に活動（又は資格）を証明する書類を提出すること	次のいずれにも該当すること ①卓越した能力を活かして、リーダー的存在として地域に貢献できる活動へ取り組む意欲がある者であること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の全体の評定平均値が3.5以上であること	1高等学校あたり2名	口頭試問、推薦書、活動実績、調査書等を総合的に判断して合格者を決定する。	口頭試問 推薦書 活動実績に関する資料 調査書 入学希望理由書	－	200

国際環境工学部

<table>
<tr><th rowspan="2">学　科</th><th rowspan="2">推薦種別</th><th rowspan="2">募集人員</th><th colspan="3">推　薦　要　件</th><th rowspan="2">学校長推薦枠</th><th rowspan="2">選考方法</th><th rowspan="2">基礎学力テスト等</th><th>時間</th><th>配点</th></tr>
<tr><th>基　礎　要　件</th><th>適性要件等</th><th>成　績　要　件</th></tr>
<tr><td>環境化学工学科</td><td rowspan="4">全国推薦</td><td>5</td><td rowspan="4">高等学校を卒業した者又は2027年３月に卒業見込みの者</td><td rowspan="4">次のいずれにも該当すること
①志望する学科への入学意欲が強く、学業成績・人物とも優れ、当該学科での勉学に適性があること（高等学校で物理及び化学を履修していることが望ましい）
②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること
③合格した場合は、入学を確約できる者であること</td><td>化学及び物理を履修しており、化学・物理・数学のいずれかの評定平均値が4.0以上であること</td><td>制限なし</td><td>化学と面接をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。</td><td>化学（注１）
面接（注３）</td><td>120分
－</td><td>60
40</td></tr>
<tr><td>機械システム工学科</td><td>5</td><td rowspan="2">次のいずれかに該当する者
①調査書の全体の評定平均値が3.5以上であり、かつ数学、理科、外国語のうちいずれか１教科の評定平均値が5.0であること
②調査書の全体の評定平均値が4.0以上であること</td><td>１高等学校あたり４名</td><td rowspan="2">総合問題と面接をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。</td><td rowspan="2">総合問題（注２）
面接（注３）</td><td rowspan="2">120分
－</td><td rowspan="2">60
40</td></tr>
<tr><td>建築デザイン学科</td><td>6</td><td rowspan="2">制限なし</td></tr>
<tr><td>生命工学科</td><td>5</td><td>調査書の全体の評定平均値が4.0以上であること</td><td>小論文と英語、面接をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。</td><td>小論文
英語（実用英語技能検定（英検）又はGTEC）（注4）
面接（注5）</td><td>90分
－
－</td><td>50
10
40</td></tr>
</table>

（注１）化学の基礎的な理解力、思考力、表現力を評価します。
（注２）自然科学、工業技術、環境技術を題材として、理数系（数学、物理）の基礎的な理解力、思考力、表現力を総合的に評価します。
　　また、建築デザイン学科については、造形とそれに関する問題を含みます。
（注３）面接では口頭試問を実施する場合があります。なお、推薦書・調査書・入学希望理由書は面接の際の参考とします。
（注４）英語は、実用英語技能検定（英検）、GTECの点数を換算します。英検、GTECの成績は出願時の年度を含む過去3年度の成績を有効とします。
　　英検はS-CBTを含みます。なお、デジタル証明書での提出は認めません。GTECは、GTEC検定版（Advanced, Basic, Core）、GTEC CBTタイプを対象とします。
（注５）面接では高等学校の学習指導要領に定める理科（物理、化学、生物）の中から２科目に関する基礎的な知識を問う口頭試問を実施する場合があります。
　　なお、推薦書・調査書・入学希望理由書は面接の際の参考とします。

【国際環境工学部の入試過去問題活用宣言への参加について】

2010 年度に実施の一般選抜試験から、国際環境工学部は「入試過去問題活用宣言」に参加し、アドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「宣言参加大学」の入試過去問題あるいは類似問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。

対象となるのは、国際環境工学部の次の選抜区分、試験科目です。

■選抜区分：一般選抜　前期日程・後期日程、学校推薦型選抜、総合型選抜

■試験科目：「数学」、「理科」（物理・化学・生物）、「総合問題」

※他の学部・学群は、「入試過去問題活用宣言」に参加しておりません。

「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次の URL にて公表しています。

https://www.nyushikakomon.jp

情報イノベーション学部

学部	推薦種別	募集人員	推薦要件 基礎要件	推薦要件 適性要件等	推薦要件 成績要件	学校長推薦枠	選考方法	基礎学力テスト等	時間	配点
情報イノベーション学部	全国推薦	30	高等学校を卒業した者又は2027年３月に卒業見込みの者	次のいずれにも該当すること ①当該学部への入学意欲が強く、当該学部での勉学に適性があること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の全体の評定平均値が3.0以上であること	制限なし	小論文と面接の成績、数学と情報科学に関する高等学校在学中の活動を点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。 なお、数学と情報科学に関する活動のうち、以下の記載レベル以上の能力を有する場合は、特に評価する。 ・実用数学技能検定（数検）２級 ・JSTによる「次世代科学技術チャレンジプログラム（STELLAプログラム）」の採択機関が開催するプログラムの参加活動実績 （例：北九州市立大学　GEEKKシルバーバッジ等）	小論文 面接 推薦書 調査書 資格取得等申告書	60分 －	30 70
	地域推薦	20	実用数学技能検定（数検）２級以上の資格を取得し、かつ、次のいずれかに該当する者 ①北九州市内に所在する高等学校を卒業した者又は2027年３月に卒業見込みの者 ②北九州市外に所在する高等学校を卒業した者又は2027年３月に卒業見込みの者で、本人又は扶養者が2026年４月１日以前から引き続き北九州市内に住所を有する者 （注1、注2）			１高等学校あたり１名	面接、推薦書、調査書等を総合的に判断して合格者を決定する。	面接(注３) 推薦書 調査書 資格取得等申告書	－	30

（注１）実用数学技能検定（数検）２級または準１級、１級のいずれかの資格を取得していることが必須です。
（注２）地域推薦に出願できる者は全国推薦の推薦要件も満たしているので、いずれかを選択することができます。
（注３）面接では数学の基礎的な理解力、思考力、表現力を問う口頭試問を実施する場合があります。

【参考】情報イノベーション学部の学校推薦型選抜における地域推薦と全国推薦の区分

		本人又は扶養者の居住地	
		北九州市内	北九州市外
出願者の在籍する高等学校等の所在地	北九州市内	地域推薦	地域推薦
	北九州市外	地域推薦	全国推薦

※「地域推薦」の区分に該当する場合であっても、「全国推薦」に出願することは可能です（併願は不可）。

3　合否判定基準

外国語学部英米学科（全国推薦）

英語による面接と調査書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合否を判定します。配点は面接240点、調査書が60点です。なお、推薦書・入学希望理由書は面接の際の資料とします。

外国語学部英米学科（地域推薦）

英語による小論文と推薦書・調査書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合否を判定します。配点は小論文が200点、推薦書・調査書が30点です。

外国語学部中国学科（全国推薦）

小論文と推薦書・調査書・入学希望理由書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合否を判定します。配点は小論文200点、推薦書・調査書・入学希望理由書が100点です。

外国語学部国際関係学科（全国推薦）

小論文と推薦書・調査書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合否を判定します。配点は小論文100点、推薦書・調査書が50点です。

経済学部

小論文と推薦書・調査書・資格取得等申告書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合否を判定します。配点は小論文100点、推薦書・調査書・資格取得等申告書が25点です。

文学部（全国推薦、地域推薦）

小論文と推薦書・調査書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合否を判定します。配点は小論文200点、推薦書・調査書が30点です。

文学部（特別推薦）

小論文、推薦書、活動・資格等の実績（活動・資格等実績一覧表、活動・資格等の実績を証明する資料）、調査書、入学希望理由書を総合的に判断して合否を判定します。

法学部

小論文と推薦書・調査書・資格取得等申告書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合否を判定します。配点は小論文300点、推薦書・調査書・資格取得等申告書が100点です。

地域創生学群（全国推薦【地方創生推薦】）

事前課題に基づくプレゼンテーション及び口頭試問、推薦書、調査書、入学希望理由書をもとに総合的に判断して合否を判定します。配点は合計200点です。

地域創生学群（特別推薦【活動実績推薦】）

口頭試問、推薦書、活動実績に関する資料（活動実績一覧表、活動実績を証明する資料）、調査書、入学希望理由書を総合的に判断して合否を判定します。配点は合計200点です。

国際環境工学部環境化学工学科（全国推薦）

化学と面接をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合否を判定します。配点は化学60点、面接40点です。なお、推薦書・調査書・入学希望理由書は面接の際の参考とします。

国際環境工学部機械システム工学科・建築デザイン学科（全国推薦）

総合問題と面接をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合否を判定します。配点は総合問題60点、面接40点です。なお、推薦書・調査書・入学希望理由書は面接の際の参考とします。

国際環境工学部生命工学科（全国推薦）

小論文と英語（実用英語技能検定（英検）又はGTECの成績）、面接をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合否を判定します。配点は小論文50点、英語10点、面接40点です。なお、推薦書、調査書、入学希望理由書は面接の際の参考とします。

情報イノベーション学部（全国推薦）

小論文と面接・推薦書・調査書・資格取得等申告書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合否を判定します。配点は小論文30点、面接・推薦書・調査書・資格取得等申告書が70点です。

情報イノベーション学部（地域推薦）

面接・推薦書・調査書・資格取得等申告書を点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合否を判定します。配点は合計30点です。

B 出願

1　出願方法

(1)　事前準備

①　インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等の準備
　学校や予備校など自宅外のパソコンからも出願できます。インターネット出願ができる環境が整っていない場合は、事前に北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係（093-964-4022）までご相談ください。

②　プリンターの準備
　Ａ４サイズの用紙が印刷できるプリンター（モノクロ、カラーは問いません）が必要です。
　出願確認票や宛名ラベル、受験票等を印刷する際に必要になります。

③　利用可能なメールアドレスの準備
　電子メールアドレスが必要になります。スマートフォン・携帯電話のメールアドレスやフリーメールのアドレスも利用可能です。
　本学から、入学試験に関する重要なお知らせ（出願登録確認・入学検定料支払い確認等）を配信します。

④　入学検定料支払い方法の確認
　コンビニエンスストア、クレジットカード、銀行ATM、ネットバンキングでの支払い方法があります。支払い方法は、「インターネット出願」サイトにアクセスして確認してください。

⑤　必要書類の準備
　調査書、顔写真等の出願に必要な書類等は、発行や作成に時間がかかる場合がありますので、早めに準備をしてください。

⑥　角形２号（角２）封筒の準備
　出願書類を提出するため、市販の角形２号（角２）（240mm×332mm）封筒を事前に準備してください。

(2)　出願登録

インターネットによる「出願登録」を行います。
出願登録等の手順は、「インターネット出願」サイトにアクセスして確認してください。

(3)　入学検定料の支払い

入学検定料17,000円（別途、サービス利用料900円）をお支払いください。
入学検定料の支払い手順は、「インターネット出願」サイトにアクセスして確認してください。

(4)　出願書類の提出

出願登録、入学検定料支払い後、出願書類の提出をしてください。
出願書類の提出方法は、「**２　出願期間等**」、「**３　出願書類**」を確認してください。

■インターネットを利用した出願の流れ



※出願の流れは、各選抜共通の流れです。「⑥出願書類の提出（郵送）」は、提出方法・提出書類の種類が各選抜で異なりますので、それぞれの学生募集要項を必ず確認してください。

2　出願期間等

⑴　出願期間等

出願期間 （出願書類の提出）	2026年11月２日（月）から 2026年11月９日（月）まで（必着）
出願登録・入学検定料支払期間 (インターネット入力等)	2026年10月26日（月）から 2026年11月９日（月）16：00まで

⑵　高等学校での集約のお願い

出願者は「学校推薦型選抜被推薦者名簿」以外の出願書類一式を封筒に入れて高等学校に提出してください。高等学校は自校の推薦者を「学校推薦型選抜被推薦者名簿【外国語・経済・文・法・情報イノベーション学部、地域創生学群用】」「学校推薦型選抜被推薦者名簿【国際環境工学部用】」それぞれ１枚に集約して記入し、出願者の書類と一括して本学へご提出ください。

⑶　出願書類の提出方法

出願書類は次の方法で提出してください。なお、提出は、必ず「出願期間」内としてください。出願期間外（出願登録・入学検定料支払期間内の10/26～11/１も含む）は受理できませんのでご注意ください。

必ず「速達・簡易書留」で出願期間内に到着するように出願書類を郵送してください。（11月９日（月）必着）

ただし、11月８日（日）以前の発信局（日本国内）消印のある「速達・簡易書留」で郵送されたものに限り、11月10日（火）以降に到着した場合でも受理します。

郵送が難しい場合は裏表紙お問い合わせ先までご相談ください。

※学部によって送付先が異なりますので、ご注意ください。

［送付先］

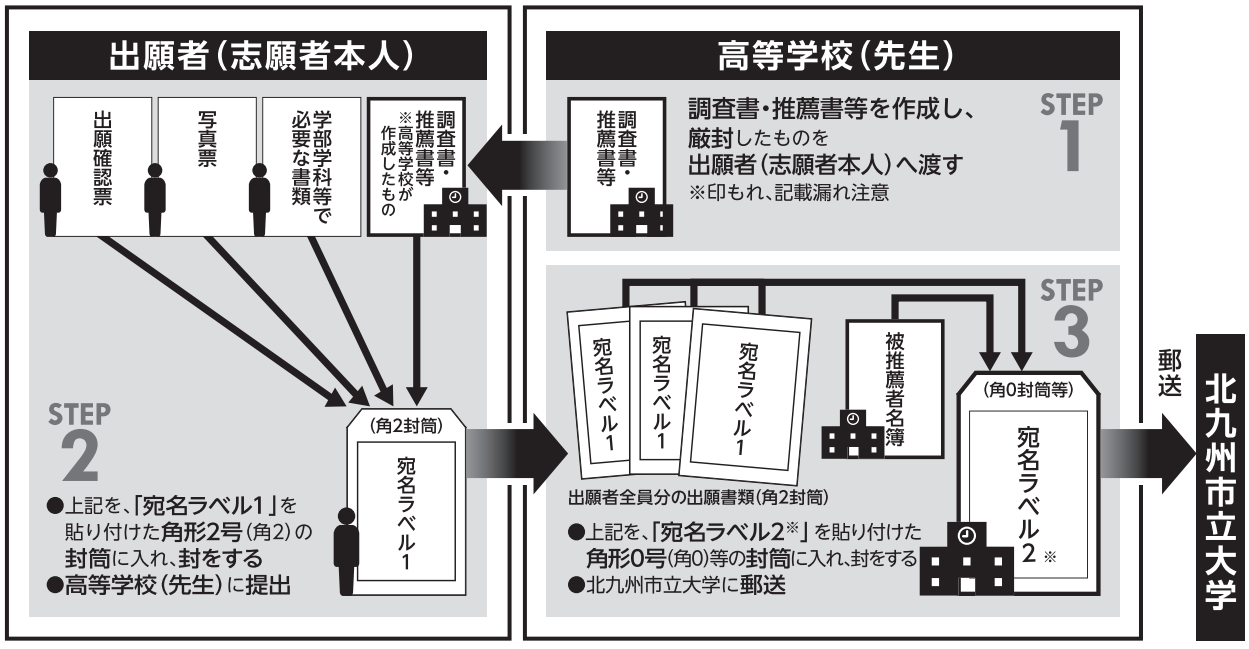
【外国語・経済・文・法・情報イノベーション学部、地域創生学群】

〒802-8577　北九州市小倉南区北方四丁目２番１号　北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係

【国際環境工学部】

〒808-0135　北九州市若松区ひびきの１番１号　北九州市立大学 学務課入学試験係

出願書類の準備・提出の流れ



※宛名ラベル２の差出人欄には、高校の住所、電話番号、担当教員名をご記入ください。

3　出願書類

出願登録、入学検定料支払い後、次の書類等を一括して高等学校に提出してください。出願書類は、A4で作成し必ず下記③宛名ラベル１を貼付した角形２号(角２)(240㎜×332㎜)封筒に封入してください。

インターネット出願登録内容の印刷	①出願確認票	インターネット出願登録後、印刷したもの。
	②写真票	インターネット出願登録後、印刷したものに、上半身・脱帽・無背景・正面向きで出願前３ヶ月以内に撮影した縦４㎝×横３㎝サイズの写真の裏面に氏名を記入の上、所定欄に貼付してください。アプリ等で加工・修正するなど、本人確認に適さない写真は使用しないでください。
	③宛名ラベル １、２	インターネット出願登録後、印刷してください。角形２号(角２)封筒に宛名ラベル1を貼り付け、出願書類一式を確認し□にチェック印をつけて封入後、「⑥被推薦者名簿」及び「宛名ラベル2」とあわせて出身高等学校長へ提出してください。
その他必要書類	④調査書 【厳封】	出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 ※取得した資格を考慮する場合もありますので、調査書に記入しておいてください。 ※本人に帰責されない身体・健康上の理由による欠席に関して、備考欄にその旨を記載ください。
	⑤推薦書 【厳封】	所定の様式に出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 ※パソコンで作成される場合は、様式データを本学ホームページ（https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance-exam/）からダウンロードすることもできます。
	⑥被推薦者名簿	所定の様式を未記入のまま出身高等学校長へ提出してください。 高等学校長は、被推薦者の氏名を記入し、高等学校にて被推薦者名簿及び名簿記載者全員の出願書類を一括して提出（郵送）してください。**被推薦者が１名の場合も必ず提出してください。** ※パソコンで作成される場合は、様式データを本学ホームページ（https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance-exam/）からダウンロードすることもできます。
	⑦活動・ 資格証明書等 【厳封】	以下の学部・学科等の志願者は、必要書類を提出してください。 **【外国語学部英米学科（全国推薦）のみ】** 推薦要件に該当する資格証明書の写し（コピー）を**推薦書とともに厳封してください**。 **【外国語学部中国学科（全国推薦）・国際関係学科（全国推薦）のみ】** 語学資格を推薦書・調査書に記載する場合は、資格証明書の写し（コピー）を**推薦書とともに厳封してください**（該当者のみ）。 **【文学部（特別推薦）・地域創生学群（特別推薦）のみ】** 推薦要件に該当する活動・資格を証明する書面の写し（コピー）及び活動等実績一覧表を**推薦書とともに厳封してください**。 ※量が多い場合は、別途大きいサイズの封筒に厳封してもかまいません。
	⑧資格取得等 申告書 【厳封】	**【経済学部・法学部のみ】** 所定の様式に出身学校長が作成し、**推薦書とともに厳封してください**。その際、高等学校在学中に取得した資格等の証明書の写し（コピー）を添付してください。調査書への取得した資格等の記載は必要ありません。取得した資格等が無い場合も必ず提出してください。 **【情報イノベーション学部（全国推薦）のみ】** 所定の様式に出身学校長が作成し、**推薦書とともに厳封してください**。その際、資格等の証明書の写し（コピー）を添付してください。調査書への取得した資格等の記載は必要ありません。取得した資格等が無い場合も必ず提出してください。尚、提出された書類は返却しません。 **【情報イノベーション学部（地域推薦）のみ】** 所定の様式に出身学校長が作成し、**推薦書とともに厳封してください**。その際、実用数学技能検定（数検）２級以上の合格証または合格証明書の写しを含む、資格等の証明書の写し（コピー）を添付してください。調査書への取得した資格等の記載は必要ありません。尚、提出された書類は返却しません。

その他必要書類	⑨実用英語技能検定（英検）の証明書類又はGTECのオフィシャルスコア【厳封】	**【国際環境工学部生命工学科（全国推薦）のみ】** ● 実用英語技能検定（英検）は、証明書類（合格証明書、英検CSEスコア証明書、個人成績表のいずれか）の写し（コピー）を提出してください。CSEスコアにより得点を換算するため、各受験級の合否は問いません。ただし、不合格の受験級の証明書類と併せて合格した受験級の証明書類を提出した場合は、提出されたもののうち得点の高いものを採用します。なお、デジタル証明書での提出は認められません。 ● GTECはオフィシャルスコアの写し（コピー）を提出してください。 上記の証明書類を<u>推薦書とともに厳封してください</u>。 ※英検、GTECの成績は出願時の年度を含む過去3年度の成績を有効とします。 ※英検はS-CBTを含みます。 ※GTECは、GTEC検定版（Advanced, Basic, Core）、GTEC CBTタイプを対象とします。 ※英検の証明書類、GTECのオフィシャルスコアの両方を提出した場合は、提出されたもののうち得点の高いものを採用します。
	⑩入学希望理由書 様式１	**【外国語学部英米学科（全国推薦）のみ】** 所定の様式に志願者本人が入学希望理由等を自筆で記入し、必ず提出してください。
	⑪入学希望理由書 様式２	**【外国語学部中国学科のみ】** 所定の様式に志願者本人が入学希望理由等を自筆で記入し、必ず提出してください。 ※必ず両面印刷をしてください。
	⑫活動についての自己評価、入学希望理由書等 様式３	**【文学部（特別推薦）のみ】** 所定の様式に志願者本人が自筆で記入し、必ず提出してください。
	⑬入学希望理由書 様式４	**【地域創生学群のみ】** 所定の様式に志願者本人が入学希望理由を自筆で記入し、必ず提出してください。 ※必ず両面印刷をしてください。
	⑭事前課題	**【地域創生学群（全国推薦）のみ】** 所定の様式に志願者本人が作成し、印刷したものを必ず提出してください。 ※様式は本学ホームページ（https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance-exam/）からダウンロードしてください。
	⑮入学希望理由書 様式５	**【国際環境工学部のみ】** 所定の様式に志願者本人が入学希望理由を自筆で記入し、必ず提出してください。
	⑯住民票	**【情報イノベーション学部（地域推薦）に出願する市外高等学校出身者のみ】** 志願者本人が北九州市内に住所を有する場合は、志願者本人の住民票を提出してください。 扶養者が北九州市内に住所を有する場合は、志願者本人と扶養者の住民票を提出してください。なお、場合によっては、扶養関係を認定するための資料の提出をお願いすることがあります。

※ <u>書類の記入には、黒のボールペンを使用してください。鉛筆で記入した書類は、受理せず返却する場合があります。</u>

※ <u>出願書類の作成において、ChatGPTなどの生成AIを使用しないでください。</u>

4　出願上の注意

(1) **国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて）への出願は、一つの大学・学部（学群）・学科（学類）のみです。**

(2) インターネットによる出願情報の登録及び入学検定料の支払いを行っただけでは出願受付完了にはなりません。出願書類を出願期間内に提出（郵送）後、出願受付完了になります。

(3) 入学検定料支払い後は、志望学部・学科等の変更はできません。出願登録内容については、必ず入学検定料支払い前に確認してください。（支払い前であれば、出願者自身で変更できます。）

(4) 出願受付完了後は、いかなる理由があっても出願書類の変更は認められません。

(5) 出願書類に不正の事実があった場合は、入学許可後であっても合格を取り消します。

(6) 出願書類等に不備がある場合には、受理しません。

(7) 出願書類は、下記(8)アを除き返却できません。

(8) 一旦納入した入学検定料は、次のいずれかに該当する場合を除き返還はできません。入学検定料の返還を希望する場合は、2026年11月27日(金)までにお問合せください。

ア　提出書類の不備等により出願が受理されなかった場合

イ　提出書類を郵送しなかった場合

ウ　誤って二重に入金した場合

(9) 出願後に住所変更を行った場合は、必ず入学試験係へ連絡してください。

地域推薦に出願する市外高等学校出身の皆様へ〈注意〉

市外高等学校出身者が地域推薦に出願する場合、**「本人（情報イノベーション学部は「本人又は扶養者」）」が「2026年４月１日以前から出願日までに引き続き北九州市内に居住している（注）」ことを満たしていることが必要です。**

したがって、地域推薦に出願、合格した市外高等学校出身者には、出願確認票「市民となった日」の確認のため、以下のとおり、書類を提出していただきます。

① 外国語・経済・文学部
入学手続き時に、北九州市に住所を有する本人の住民票を提出していただきます。なお、**上記の要件を満たしていないことが判明した時には、合格を取り消すことになりますのでご注意ください。**

② 情報イノベーション学部
出願時に、「３　出願書類　⑯」に記載のとおり、本人又は本人及び扶養者の住民票を提出いただきます。なお、**上記の要件を満たさない場合、出願は認められませんのでご注意ください。**

（注）入学金の市内居住者の取扱いを受ける場合には、本人又はその配偶者若しくは２親等内の親族が「入学手続時」まで引き続き北九州市に住所を有することが必要となります。詳細は16ページの入学金等納入金一覧の項をご参照ください。

５　受験票について

(1) **受験票印刷可能期間　　2026年11月16日（月）～2027年1月22日（金）**

(2) 受験票は、印刷可能期間中インターネット出願サイトの「申込確認」画面から印刷可能です。Ａ４サイズの用紙に印刷し、二つ折りにしてください。

(3) 試験当日は、印刷した受験票を必ず持参してください。

(4) 受験票には、メモなどを記入しないでください。記入していることを発見した場合は、不正行為とみなす場合があります。

(5) 受験票は、入学手続及び入試情報の成績開示等に必要ですので、大切に保管しておいてください。

(6) 地域創生学群及び情報イノベーション学部の集合時間・試験時間については、受験票に記載のホームページアドレスから事前にご確認ください。

６　出願状況ホームページ掲載

2026年11月20日（金）から11月30日（月）まで、確定志願者数を掲載します。

７　受験及び修学上の配慮について

障害や疾病などで、受験及び修学上特別な配慮を希望する入学志願者は、その措置を講ずるための審査が必要となりますので、事前に下記連絡先へ相談の上、2026年10月15日（木）（必着）までに本学が指定する書類を提出してください。詳細・指定する様式については、本学ホームページでご確認ください。

８　個別の入学資格審査について

「高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、高等専門学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程等」以外の学校に在学する者で出願を希望する者は、事前に入学資格審査を行いますので、下記連絡先へ相談の上、2026年10月15日（木）（必着）までに本学が指定する書類を提出してください。詳細・指定する様式については、本学ホームページでご確認ください。

９　入学検定料の免除について

2027年度入学試験において、令和８年熊本地震で被災された志願者の入学検定料の免除を行います。入学検定料の免除を希望する場合は、出願手続の前に下記連絡先へ相談の上、2026年10月15日（木）（必着）までに本学が指定する書類を提出してください。詳細・指定する様式については、本学ホームページでご確認ください。

連絡先
【外国語･経済･文･法・情報イノベーション学部､地域創生学群】
北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係　TEL 093-964-4022
【国際環境工学部】
北九州市立大学 学務課入学試験係　TEL 093-695-3340
（ホームページアドレス　https://www.kitakyu-u.ac.jp/）

C 試験

1 受験上の注意

⑴ 持参物について

・受験票を必ず持参してください。（**受験票は11月16日（月）から印刷可能**）
・筆記用具（鉛筆（シャープペンシル）、消しゴム）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものは不可。）を持参してください。
・身分証明書（生徒証・学生証・マイナンバーカード・パスポート・運転免許証・在留カード等（氏名及び生年月日の記載があり、顔写真付きで、試験当日において有効なもの。））を必ず持参してください。必要に応じて提示を求めたり、本人確認のための質問を行ったりする等の対応をとることがあります。
・試験時間中は、スマートフォン・携帯電話・ウェアラブル端末・タブレット端末等の通信機器を時計として使用することはできません。また、これらの通信機器は、必ず電源を切り、カバンにしまっておいてください。イヤホンを含め身に付けることはできません。そのほか、電卓・そろばん・電子辞書・定規及びこれに類するものの持ち込みも厳禁です。発見した場合は、不正行為となることがあります。

⑵ 所持品の取扱いについて

①受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、次のとおりです。

・黒鉛筆、鉛筆キャップ（和歌・格言等が印刷されているものは不可。）
・シャープペンシル、シャープペンシルの芯（ケースは不可。）
・プラスチック製の消しゴム
・手動式の鉛筆削り
・時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものは不可。）
・眼鏡、ハンカチ（英文字や地図等がプリントされているものは不可。）、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの。）

②試験時間中に、次のものを使用してはいけません。

・定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具
・携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ＩＣレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類

⑶ 来場について

・公共交通機関をご利用ください。（自家用車の学内乗り入れは固くお断りします。）
・試験当日は、指定された集合時間までに試験室に集合してください。

※遅刻制限について

遅刻は、試験開始後20分までに入室した者に限り認めます。
ただし、面接試験については遅刻を認めません。
地域創生学群及び情報イノベーション学部については、集合時間経過後の遅刻は認めません。

※公共交通機関が遅延した場合

定期に運行している公共交通機関の大幅な遅れにより試験開始時刻に遅刻した場合には、所定の試験時間を確保して試験を行います。その際、当該公共交通機関を利用したことの証明のため、乗車時刻・到着時刻等をあらかじめ記録し申告してください。（自家用車の利用による遅延は、この対象となりません。）

⑷ 昼食について

国際環境工学部を受験する方は用意してください。

⑸ 面接試験（プレゼンテーション、口頭試問含む）の待ち時間について

受験者数によって面接試験の順番が来るまで時間を要する場合がありますので、読書や勉強などで時間を費やすことができるよう準備をお願いします。（ゲーム、スマートフォン、携帯電話及び電子辞書などの電子機器類の使用は禁止します。）
また、飲食は可能ですので、必要な方は各自でご準備ください。

⑹ 不正行為について

カンニングなどの不正行為を行った場合には失格とします。また、試験中に試験監督者の指示に従わなかった場合は、その試験を０点とする場合があります。必要に応じて追加的な確認を行ったり、警察に被害届を提出したりする場合があります。

2　試験会場、下見日時

学部等	試験会場＊	下見日時	主要交通機関
外国語学部 **経済学部** **文学部** **法学部** **地域創生学群** **情報イノベーション学部**	**北九州市立大学** **北方キャンパス本館** （北九州市小倉南区 北方四丁目２番１号）	**11 月 28 日（土）** **13：00 ～ 17：00** ※下見では建物内に入ることはできません。建物の位置や入口、試験室番号等の確認をしてください。	北九州モノレール利用 JR 小倉駅（乗り換え）⇒モノレール「**小倉**」駅乗車⇒ （乗車時間約 10 分）⇒モノレール「**競馬場前** **（北九州市立大学前）**」駅下車⇒（徒歩約 3 分）⇒ 北九州市立大学北方キャンパス
国際環境工学部	**北九州市立大学** **ひびきのキャンパス** （北九州市若松区 ひびきの１番１号）		北九州市営バスまたは西鉄バス利用 **JR 折尾駅バス停**から乗車（約 20 分）⇒ **学研都市ひびきのバス停**下車⇒（徒歩約 2 分）⇒ 北九州市立大学ひびきのキャンパス ※JR 折尾駅バス停…「学研都市」行き バスの乗り場・行先番号については、最新情報を 以下でご確認ください。 北九州市営バス　・・・若松営業所　093-771-2765 向田営業所　093-691-0131 西鉄バス　・・・西鉄お客さまセンター　050-3616-2150 0570-00-1010

＊裏表紙の案内図参照

D 試験後

1　合格発表

⑴　合格発表日時　　2026年12月11日（金）10時頃

⑵　合格発表方法

①　ホームページ　合格発表日の10時頃、本学ホームページに合格者受験番号を掲載します。
ホームページアドレス https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance-exam/

②　合格通知　合格者には、発表日当日に「合格通知書」を簡易書留で発送します。未着の場合、郵便局の不在票を確認してください。

※ 合否に関することや、受験番号の問い合わせには一切応じません。
※ 学内掲示は行いません。

2　入学手続

(1)　**入学手続期間　2027年1月19日（火）～1月22日（金）17:00必着**

(2)　入学手続に関する詳細については、「合格通知書」送付の際にお知らせします。主な必要書類は、住所カード、授業料口座振替依頼書、学生証用写真（縦4cm×横3cm、カラー、2枚）等です。

(3)　**入学手続には、本学の受験票が必要です。**大切に保管しておいてください。

(4)　合格者は本学の他の選抜試験及び他の国公立大学に出願しても、その合格者とはなりません。合格して入学手続をしなかった場合も同じです。（(5)により本学が承認した場合を除く）

(5)　特別な事情により本学への入学を辞退する場合は、2027年1月22日（金）の入学手続期限までに推薦高校の学校長名で、「学校推薦型選抜における入学辞退届」（様式は任意）を本学（入試・研究支援課入学試験係）へ提出し、本学の承認を受けてください。

(6)　**理由のいかんを問わず、入学手続期間の延長は行いません。**

(7)　期間内に、入学金の納入、必要書類の提出を完了した者に入学を許可します。

(8)　一旦納入した入学金は、いかなる理由があっても返還しません。なお、高等教育の修学支援新制度に係る入学金の取扱いについては、17ページを確認してください。

3　入学前教育

◇　外国語学部英米学科

学校推薦型選抜合格者（入学予定者）には、スクーリングとレポートの提出を課します。詳細については、合格通知書送付の際に通知します。

◇　外国語学部中国学科

学校推薦型選抜合格者（入学予定者）には、原則として、入学前の教育プログラムへの参加を課します。詳細については、合格通知書送付の際に通知します。

◇　外国語学部国際関係学科

学校推薦型選抜合格者（入学予定者）には、原則として、入学前の教育プログラムへの参加を課します。詳細については、合格通知書送付の際に通知します。

◇　経済学部

経済学・経営学を学ぶ者にとって数学は重要な基礎知識の分野です。経済学部の学校推薦型選抜入学予定者には、入学後の学習プログラムにスムーズに対応できるよう『基礎的な数学』についての入学前教育を受けていただきます。

なお、入学前教育の詳細については、合格発表後に通知します。

◇　地域創生学群

学校推薦型選抜合格者（入学予定者）には、原則として、入学前の教育プログラムへの参加を課します。詳細については、合格通知書送付の際に通知します。

◇　国際環境工学部

国際環境工学部の入学予定者には、大学での学習がスムーズに始められるよう「国語」、「英語」、「数学」、「物理」、「化学」、「生物」について入学前教育を課します。（学科によって科目が異なります。）

なお、入学前教育の詳細については、合格発表後に通知します。

◇　情報イノベーション学部

学校推薦型選抜合格者（入学予定者）には、大学での学習がスムーズに進められるよう、入学前教育プログラムへの参加を課します。

なお、入学前教育の詳細については、合格発表後に通知します。

4　入学金等納入金一覧（現行の金額です。変更となる場合があります。）

(1)　入学金　　（単位：円）

区分＼学部等		外国語学部	経済学部	文学部	法学部	地域創生学群	国際環境工学部	情報イノベーション学部
入学金	北九州市内居住者	282,000	282,000	282,000	282,000	282,000	282,000	282,000
	上記以外の者	423,000	423,000	423,000	423,000	423,000	423,000	423,000

(2)　保険料及び諸会費　　（単位：円）

区分＼学部等			外国語学部	経済学部	文学部	法学部	地域創生学群	国際環境工学部	情報イノベーション学部
保険料	学生教育研究災害傷害保険（学研災）		3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300
	学研災付帯賠償責任保険（学研賠）		1,360	1,360	1,360	1,360	1,360	1,360	1,360
諸会費	後援会費		50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
	同窓会費	入会金	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
		会費	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
	学会費		10,000	10,000	—	10,000	10,000	—	—
	学友会費	入会金	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
		会費	25,600	25,600	25,600	25,600	25,600	25,600	25,600
合計			141,260	141,260	131,260	141,260	141,260	131,260	131,260

備考 1　北九州市内居住者とは、入学する本人又はその配偶者若しくは２親等内の親族が、入学の前年度において北九州市の市民税納税義務者（又は市民税非課税者）であり、かつ入学金納入のときまで引き続き北九州市内に住所を有する者をいい、それを証明する書類（市民税納税証明書、納税義務者の住民票、入学者と納税義務者の続柄がわかる書類など）が必要となります。なお、「入学の前年度において北九州市の市民税納税義務者（又は市民税非課税者）」であるためには、2026年１月１日現在北九州市に在住していることが必要です。

2　保険料及び諸会費の金額はいずれも一括納入額です。保険料、学友会費、学会費は４ヵ年分。後援会費は在籍期間中における会費、同窓会費は終身会費です。

諸会費については、入学の必須条件ではありません。

3　本学では、学生の教育研究活動中の事故によるケガ等に備えて、全学生に「学生教育研究災害傷害保険（学研災）」及び「学研災付帯賠償責任保険（学研賠）」に加入をしていただき、万が一の場合に、学生の負担軽減を図ることとしています。この保険は、教育実習やインターンシップに参加する際に必要な保険となっています。

※【参考】学研災付帯賠償責任保険（学研賠）：正課（特に、実験・実習等）、学校行事、課外活動及びその往復中の賠償責任事故が対象。

５　年間授業料（現行の金額・納入方法です。変更となる場合があります。）

学　部　等	年間授業料	納入回数		納　入　方　法
		（第１期）	（第２期）	
全学部・学群	535,800円	267,900円	267,900円	口座振替による、年間２期の分割納入です。 入学手続時に口座振替依頼書を提出していただきます。

※在学中に授業料の改定及び納入方法等の改定が行われた場合、改定時から適用されることとなります。

【高等教育の修学支援新制度について】

本学は「大学等における修学の支援に関する法律」において要件の確認を受けています。
支援内容は、日本学生支援機構の給付型奨学金支給及び授業料・入学金の減免です。
大学における手続は、合格後に発送する入学の手引及び入学後のオリエンテーション時に配付する奨学金の案内でお知らせします。

入学金の納入猶予について

入学金の納入猶予については、高等学校等を通じて修学支援新制度に予約採用の申込みを行い、給付型奨学金の候補者として決定された方を対象とします。

決定された方は、入学手続の際に「大学等奨学生採用候補者決定通知」を提出していただく必要があります。

予約採用の申込方法等は、所属の高等学校等にご確認ください。

○参考ウェブサイト
文部科学省ホームページ
https://www.mext.go.jp/kyufu/

Ｅ 入試における感染防止対策について

「2027年度学校推薦型選抜」（2026年度に実施する試験）における感染防止対策については、本学ホームページ（https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance-exam/）をご覧ください。

連絡先
【外国語・経済・文・法・情報イノベーション学部、地域創生学群】
北九州市立大学　入試・研究支援課入学試験係　　TEL　093-964-4022
【国際環境工学部】
北九州市立大学　学務課入学試験係　　TEL　093-695-3340

F その他

1 教育目的

外国語学部：外国語の高度な運用能力を持ち、専攻する地域の文化・社会・歴史・政治経済と国際関係に関する専門的知識を有し、国際社会で活躍できるグローバルな人材の養成

英米学科	中国学科	国際関係学科
高度な英語運用能力と、英米および英語圏の文化・社会の諸問題についての専門的知識を兼ね備えた、国際社会で活躍できる人材の養成	高度かつ実践的な中国語運用能力と、中国及び中国語圏の言語・文学・文化・歴史・経済などに関する専門的知識を兼ね備えた、国際社会で活躍できる人材の養成	国際関係と地域研究の発展的な知識と、英語を中心に優れた語学力を兼ね備え、グローバルな視野に立って活躍できる国際人の養成

経済学部：幅広い教養と経済・経営情報に関する基礎及び応用分野の知識を持ち、社会や経済・経営の諸問題を論理的に分析し解決する能力を兼ね備えた人材の養成

経済学科	経営情報学科
豊かな教養と経済学の基礎及び応用分野に関する知識を兼ね備え、理論と実践を統合することにより、社会や経済の諸問題を解決できる人材の養成	幅広い教養を身につけ、経営学を理解し、情報科学や会計学の手法も駆使することで、さまざまな企業経営や社会に関する諸問題を解決できる人材の養成

文学部：自文化の発信と異文化への理解を深める能力を持つ世界的な視野に立った人材、または、真の意味での人間の健康的な生活のあり方を探求する人材の養成

比較文化学科	人間関係学科
日本文化と欧米文化をはじめとする異文化への深い認識を持ち、自文化の発信と異文化への理解を深める能力を持つ世界的な視野に立った人材の養成	人間の存在、行動、発達を社会環境や自然環境などとの関連において学際的、総合的に把握し、真の意味での人間の健康的な生活のあり方を探求する人材の養成

法学部：社会における様々な問題を発見・分析する能力を備え、法的思考力や政策立案・評価能力を駆使することにより、弾力的で総合的な判断に基づいて問題を解決し、社会の発展に貢献することができる人材の養成

法律学科	政策科学科
法理論の深い理解、広い知識及び総合的判断力を持ち、法現象に対して弾力的に対処し得る法的思考力・処理能力を備えた人材の養成	地域社会、国際社会などにおける様々な問題を発見し分析する能力、解決策を立案する能力、さらに評価能力を有した人材の養成

地域創生学群：幅広い教養と実践力を持った専門性を備え、地域に関する理論と現場理解により地域社会をマネジメントし、地域の再生と創造に貢献できる人材の養成

地域創生学類
幅広い教養と実践力を持った専門性を備え、地域に関する理論と現場理解により地域社会をマネジメントし、地域の再生と創造に貢献できる人材の養成

国際環境工学部：環境問題に対する深い認識（環境マインド）を持ち、工学の多様化に対応できる基礎素養と工学的専門知識ならびに問題解決能力を備え、社会の持続的発展に貢献できる人材の養成

環境化学工学科	機械システム工学科	建築デザイン学科	生命工学科
化学に関する基礎学力と実践力を身につけ、物質変換を含む物質の流れを制御することにより物質の生産、エネルギー・資源循環、環境改善を実現する人材の養成	機械システム技術者として、環境に配慮したものづくりで、「豊かな社会」と「持続可能な社会」との両立に貢献できる人材の養成	建築デザイン及び建築技術に関する基礎学力と実践力を身に付け、地球環境に配慮した建築・都市の創造と保全に貢献できるアーキテクト・マインドと技術者倫理を理解した人材の養成	生物・生態・環境の本質を理解し、活用するための基礎学力と実践力を身につけるとともに、バイオテクノロジーやエコテクノロジーを活用した技術開発力や環境問題への対応能力を持つ人材の養成

情報イノベーション学部：急速に発展・変化する情報技術分野や情報社会に柔軟に対応し、自己学習を継続しながら新たな挑戦を続ける主体性を備えるとともに、国際的な視座と多分野にわたる広範な知識、科学技術の倫理観も兼ね備え、持続可能な社会の実現に貢献するリーダーシップを発揮できる人材の養成

情報エンジニアリング学科	共創社会システム学科
情報工学の理論と技術を基盤に、数理的思考や計算機技術の応用力、さらに人工知能（AI）を含む知能情報処理の実践的スキルを育成し、情報技術を通じて実社会の課題解決に貢献できる人材の養成	情報工学の理論と技術を基盤に、社会科学等多分野の知見と融合させながら、持続可能な社会の構築や地域課題の解決に向けて実践的に貢献できる人材の養成

2　アドミッション・ポリシー

外国語学部英米学科

（求める学生像）

○世界の文化や情勢、社会、経済に高い関心を持ち、世界的な視野を持って意欲的に学び、自ら情報発信にも積極的な人
○英語による高度なコミュニケーション能力の獲得を目指し、積極的に努力する人
○国際社会での活動に熱心に取り組み、言語・文化・ビジネスの領域を中心にキャリア形成を図ろうとする意欲を有した人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「○」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・英語および英語圏の文化・社会・ビジネス分野について学ぶために必要な幅広い基礎学力を身につけている。	・英語圏を中心に世界の文化・社会について英語で自分の考えを述べるために必要となる思考力・判断力・表現力を身につけている。	・異文化圏の人々と積極的に交流・協働し、相互理解を深め新しい価値の創造を目指す姿勢を持っている。
学校推薦型選抜（全国推薦）	基礎学力テスト等	英語による面接（推薦書、入学希望理由書）		○	○
		調査書			○
学校推薦型選抜（地域推薦）	基礎学力テスト等	英語による小論文		○	
		推薦書、調査書	○		

外国語学部中国学科

（求める学生像）

○英語以外の新しい言語を学ぶ意欲を持ち、その修得に挑戦しようとする人
○多様な文化をもつ中国・アジア社会に関心を持ち、グローバル社会の多様性や複雑性をより深く理解したい人
○修得した中国語や身につけた知識を活かして、アジア圏を中心に国際社会で活躍したい人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「○」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・入学後の修学に必要な幅広い基礎的な知識・技能を備えている。 ・英語に関して、基礎的な読解力、表現力を備えている。 ・外国語を修得する素養を備えている。	・文章を読んで、その内容について、論理的に、思考・判断し、自分の考えを分かりやすく表現する力を備えている。 ・問いや質問の内容を理解・判断し、自分の考えを分かりやすく明確に表現する力を備えている。	・積極的に他者とコミュニケーションを取り、他者の考えを理解しようとする姿勢を持っている。 ・ともに学び合うことで自分自身を向上させようとする姿勢を持っている。
学校推薦型選抜（全国推薦）	基礎学力テスト等	小論文	○	○	
		推薦書、調査書、入学希望理由書	○		○

外国語学部国際関係学科

（求める学生像）

○国際関係の分野に高い関心を持ち、国際社会の諸相を多角的に深く理解したい人
○英語および中国語・朝鮮語などを用いてグローバル化した社会での活躍を目指す人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「○」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・英語などの外国語における基礎的な読解力、表現力および実践的運用能力を備えている。 ・国際関係に関する文章を理解し得る基礎的な読解力および知識を備えている。	・国際関係を学ぶ上で必要な論理的な思考力・判断力を備えている。 ・自分の考えを他者に明確に伝える表現力を備えている。	・国際関係に対する問題関心や学習意欲を持っている。 ・文化的多様性に配慮しながら他者と円滑にコミュニケーションを図り、協力して目標を達成する意欲を持っている。
学校推薦型選抜（全国推薦）	基礎学力テスト等	小論文	○	○	
		推薦書、調査書	○		○

経済学部

（求める学生像）

○「社会のメカニズム」に関心を持ち、その仕組みを理解したい人

○大学で専門分野として学んだ経済・経営に関する知識や分析手法を仕事に活かし、社会に貢献したい人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「○」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・経済・経営分野を学ぶために必要な幅広い基礎学力を備えている。 ・文章を読み解き、考えをまとめるために必要な日本語と外国語の語学力を身につけている。 ・経済・経営に関する仕組みや歴史を理解するために必要な知識と数理的素養を持っている。	・社会問題を明敏に思考・判断し、解決するために必要な論理展開力を身につけている。 ・文章を読み、その内容と自らの考えを分かりやすく的確に伝えることができる日本語と外国語の表現力を備えている。	・様々な活動において他者と協働し、コミュニケーションを取りながら、主体的に行動する意欲および姿勢を持っている。 ・自分のキャリアビジョンが明確で、資格取得など、その実現に向けて努力する姿勢を持っている。
学校推薦型選抜（全国推薦、地域推薦、商業科・総合学科推薦）	基礎学力テスト等	小論文		○	
		推薦書、調査書、資格取得等申告書			○

文学部比較文化学科

（求める学生像）

○継続的かつ自主的に学ぶ姿勢を身につけており、多様な文化への好奇心が旺盛な人

○異なる文化的背景を持つ人とのコミュニケーションに積極的な人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「○」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・多様な文化を学際的、総合的に研究するのに必要な基礎的な学力を持っている。	・文化に関する諸問題について、他者の考えを理解した上で自分の意見を論理的かつ的確に表現する力を持っている。	・多様な価値観や異なる文化的背景を尊重しつつ、他者と協働関係を築き、問題解決に臨む態度が身についている。
学校推薦型選抜（全国推薦、地域推薦）	基礎学力テスト等	小論文		○	
		推薦書、調査書	○		
学校推薦型選抜（特別推薦）	基礎学力テスト等	小論文		○	
		推薦書、活動・資格等の実績、調査書、入学希望理由書			○

文学部人間関係学科

（求める学生像）

○十分な基礎学力と継続的に学修に臨む姿勢を身につけており、人間関係を取り巻く事柄に対して高い問題意識を持っている人

○真の意味での人間の健康的な生活のあり方を探求することに強い関心を持った人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「○」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・人間と社会や自然との関係について学際的、総合的に探究する学修を始めるに当たって、必要な基礎的な学力を持っている。	・人間関係の諸課題について他者の考えを参照しつつ、思考して自分の意見を構築し、それを的確に表現する力を持っている。	・多様な意見を尊重しつつ、包括的なコミュニケーションを通して協働的に物事を解決する態度を持っている。
学校推薦型選抜（全国推薦、地域推薦）	基礎学力テスト等	小論文		○	
		推薦書、調査書	○		
学校推薦型選抜（特別推薦）	基礎学力テスト等	小論文		○	
		推薦書、活動・資格等の実績、調査書、入学希望理由書			○

法学部法律学科

（求める学生像）

○日常生活における法的諸問題に高い関心を持ち、それらに対応できる知識や技能を修得したい人
○広い視野を持って、物事を多面的かつ論理的に考察することができる人
○大学で学んだ知識や技能を社会生活における様々な場面で活かそうという意欲のある人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「○」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・法律学を学ぶ上で必要な幅広い基礎的な学力を備えている。 ・文章を読み解き、考えをまとめる日本語と外国語の語学力を身につけている。	・社会における諸問題に対して自分の頭で論理的に思考・判断することができる。 ・文章を読み、その内容を的確に伝えたり、自分の考えを分かりやすく表現することができる。	・多様な人々とコミュニケーションを取りながら、主体的に行動する姿勢を身につけている。 ・他者の異なった考えに謙虚に向き合い、社会における諸問題に対応しようとする意欲を持っている。
学校推薦型選抜（全国推薦）	基礎学力テスト等	小論文		○	
		推薦書、調査書 資格取得等申告書			○

法学部政策科学科

（求める学生像）

○国や地域、国際社会の抱える様々な問題に関心を持ち、政治・政策を分析する能力を修得する意欲にあふれる人
○広い視野を持って、物事を多面的かつ論理的に考察することができる人
○大学で得た知識や能力を様々な場面で活かし、広く市民社会・国際社会に貢献したい人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「○」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・政策科学を学ぶために必要な幅広い基礎的な学力を持っている。 ・文章を読み解き、考えをまとめる日本語と外国語の語学力を身につけている。	・国や地域における様々な問題に対して、論理的に思考・判断し、解決するために必要な能力を持っている。 ・文章を読み、その内容を的確に伝えたり、自分の考えを分かりやすく表現することができる。	・多様な人々とコミュニケーションを取りながら、主体的に行動する姿勢を身につけている。 ・他者の異なった考えに謙虚に向き合い、社会における諸問題に対応しようとする意欲を持っている。
学校推薦型選抜（全国推薦）	基礎学力テスト等	小論文		○	
		推薦書、調査書 資格取得等申告書			○

地域創生学群地域創生学類

（求める学生像）

○地域社会の諸問題に強い関心を持ち、探究心を持って主体的に行動し、学修する人
○地域社会に対する責任感と使命感を有する人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「○」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・情報や課題を理解するために必要な読解力や文章表現力を備えている。 ・複雑な地域課題の解決のために、特定の分野の基礎知識を身につけている。 ・地域創生を達成するために必要な卓越した技能を有している。	・相手の発言の意図や求められている事を的確に理解し、それに応じるために必要な表現力を身につけている。 ・地域創生に関する講義や文章を理解し、論理的にまとめる思考力を身につけている。	・地域で活動する上で必要となる他者とのコミュニケーション能力や、自ら主体的に関わろうとする意欲を持っている。 ・自らのアイディアや経験を地域創生に活かす上での明確なビジョンを持っている。
学校推薦型選抜（全国推薦）【地方創生推薦】	基礎学力テスト等	プレゼンテーション及び口頭試問（事前課題、推薦書、調査書、入学希望理由書）		○	○
学校推薦型選抜（特別推薦）【活動実績推薦】	基礎学力テスト等	口頭試問（推薦書、活動実績に関する資料、調査書、入学希望理由書）	○	○	

国際環境工学部環境化学工学科

（求める学生像）

○化学・エネルギー・環境に関心を持ち、その理解・応用の基礎となる知識・論理の修得を目指す人
○大学で学んだ知識を活かし、大学院での高度な知識の修得や、化学・環境技術者としてより高い視点から活躍を志す人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「○」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・化学・工学を学ぶ上で基礎となる理科・数学に関する知識を身につけている。 ・多分野が関連するエネルギー・環境の学修のため、人文・社会・自然科学を問わず高校までの学問を幅広く修得している。 ・日本語と英語を基礎としたコミュニケーションに必要な能力を持っている。	・対象とする課題の本質を理解し、解決策を論理的に導き、それを他者に的確に伝える力を身につけている。	・化学・エネルギー・環境に強い関心を持ち、グローバルな視点で、積極的に学ぶ意欲と行動力を持っている。 ・他者との協働による課題解決を実現するためのコミュニケーション能力を身につけている。
学校推薦型選抜（全国推薦）	基礎学力テスト等	化学	○	○	
		面接（推薦書、調査書、入学希望理由書）			○

国際環境工学部機械システム工学科

（求める学生像）

○機械システム工学・エネルギー・環境問題に関心を持ち、その解決のために工学を応用する意欲を持っている人
○明確な目標を持ち、そのための努力を惜しまず、常に自らの能力向上を図る意欲のある人
○国際的な視点から技術の発展に貢献する意欲を持っている人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「○」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・機械システム工学を学ぶために必要な幅広い基礎的な学力を持っている。 ・日本語と英語を基礎としたコミュニケーションに必要な能力を持っている。	・機械システム工学分野を学ぶために必要な思考力、数学・理科の素養、表現力等を持っている。	・将来、機械工学を用いて様々な環境問題の解決に取り組む意欲を持っている。
学校推薦型選抜（全国推薦）	基礎学力テスト等	総合問題	○	○	
		面接（推薦書、調査書、入学希望理由書）			○

国際環境工学部建築デザイン学科

（求める学生像）

○建築学・エネルギー・環境問題に関心を持ち、その解決のために工学を応用する意欲を持っている人
○明確な目標を持ち、そのための努力を惜しまず、常に自らの能力向上を図る意欲のある人
○誇りある建築技術者となるために必要な責任感、倫理観を有する人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「○」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・建築学を学ぶために必要な幅広い基礎的な学力を持っている。 ・高度な専門知識を有する建築技術者や一級建築士を目指す上での基盤となる理数系の素養を持っている。 ・日本語と英語を基礎としたコミュニケーションに必要な能力を持っている。	・建築学分野の諸課題を理解し、その対策案をデザインする力を身につけるための思考力、数学・理科の素養、表現力等を持っている。	・構造・意匠・材料・エネルギー等の多様な観点から建築について学ぼうとする姿勢を持っている。
学校推薦型選抜（全国推薦）	基礎学力テスト等	総合問題		○	
		面接（推薦書、調査書、入学希望理由書）			○

国際環境工学部生命工学科

（求める学生像）

○バイオテクノロジー、生態系や地球環境の保全の分野で将来活躍したいという強い意欲を持っている人
○生物・生体の機能を活用した新技術の創出を目指す意欲を持ち、生命科学に深い関心を持っている人
○旺盛な知的好奇心と目的意識を有し、意欲的に国内外の環境問題の解決に取り組みたいと考える人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「○」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・人文・社会・自然科学・語学を問わず、幅広い知識を身につけている。 ・工学の基礎となる数学、物理、化学、生物などの基礎学力を身につけている。 ・日本語と英語のコミュニケーション能力を持っている。	・問題を理解・解析し、思考発展させる能力を身につけている。	・明確な目標を持ち、そのための努力を惜しまず、常に自らの能力向上を図る意欲を持っている。 ・将来は工学的見地から社会に貢献しようとする意欲を持っている。
学校推薦型選抜（全国推薦）	基礎学力テスト等	小論文		○	
		英語（実用英語技能検定又はGTEC）	○	○	
		面接（推薦書、調査書、入学希望理由書）			○

情報イノベーション学部

（求める学生像）

○情報工学やデータサイエンス、AIの力を活用して、環境・エネルギー・社会の課題解決に主体的に取り組もうとする意欲を持つ人
○多様な人々と協働しながら、新たな価値を創造しようとする姿勢と、明確な目標に向けて努力を惜しまない向上心を持つ人
○探究心とアントレプレナーシップを備え、変化を前向きに捉えながら、自らの学びと成長を継続できる人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「○」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・情報工学、データサイエンス、AI技術などの専門分野を学ぶために必要な数学・情報に関する基礎的学力を有している。 ・社会課題や環境・エネルギー問題を理解するために必要な科学的・論理的リテラシーを備えている。 ・他者と協働するための基礎として、日本語および英語による基本的な読解・表現・情報収集能力を持っている。	・情報技術を活用して、課題を多面的かつ論理的に分析し、自ら考え、判断する力を持っている。 ・データや事実に基づいて、問題の本質を探り、創造的に解決策を構想できる思考力と表現力を備えている。 ・自分の考えを、多様な形式（文章・図表・プレゼンテーション等）で的確に伝える力を有している。	・社会や地域の課題に関心を持ち、自ら学び、自ら行動する意欲を有している。 ・他者の意見や価値観を尊重し、多様な立場の人々と協働しながら課題解決に取り組む姿勢を持っている。 ・新たな価値を創造するために、アントレプレナーシップやPBL活動に積極的に関与しようとする態度を備えている。
学校推薦型選抜（全国推薦）	基礎学力テスト等	小論文	○	○	
		面接、推薦書、調査書		○	○
		資格取得等申告書（実用数学技能検定（数検）2級以上、JSTによる「次世代科学技術チャレンジプログラム」の参加活動実績（デジタルバッジ）等）			○
学校推薦型選抜（地域推薦）	基礎学力テスト等	面接（口頭試問を含む）、推薦書、調査書、資格取得等申告書		○	○

3　ディプロマ・ポリシー

基盤教育における学位授与方針

豊かな「知識」	• 地域社会の課題や政策について、地域の文化・歴史、経済・産業等の魅力をふまえながら理解する力を身につけている。 • 生命や自然、環境問題の基礎を理解し、持続可能な環境共生社会の実現に向けて貢献する意識をもっている。 • 国際社会の諸問題を理解し、世界的な視野をもって行動できる力を身につけている。
知識を活用できる「技能」	• 英語などの基礎的運用能力、情報リテラシー、資料等を読み解く技能を身につけている。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」	• 多様なものの見方、考え方、価値観などを理解し、思考・判断することができる。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」	• 個人の異なる生き方や価値観を理解し、社会と調和し、組織や社会の活動を促進することができる。
社会で生きる「自律的行動力」	• 他者との関わりの中で自己を律し、自己のキャリア形成に向けて継続して学び、公共性、倫理性を持って行動できる。

専門教育における学位授与方針

外国語学部

観点＼学科	英米学科	中国学科	国際関係学科
豊かな「知識」	• 世界の文化的・社会的事象に関わる幅広い知識を基盤に、コアとなる「英語学・英語教育」「国際文化社会」「グローバルビジネス」のいずれかの専門分野に関する知識を体系的・総合的に身につけている。	• 専門分野である中国語に関し、その運用に必要な知識、中国語圏の文学・文化・歴史・社会に関する知識を体系的に身につけている。	• 国際政治経済やアジア太平洋地域の政治外交に関する社会科学の基礎知識を修得し、それをもとに個々の地域が持つ特性を理解している。
知識を活用できる「技能」	• 英語の４技能（読む・聞く・話す・書く）の修得に加え、英米及び英語圏を中心に世界の文化・社会的な背景の理解のもと、国際社会で活躍するために必要な高度な英語を適切に運用できる能力を身につけている。	• 中国語の４技能（読む・聞く・話す・書く）をバランス良く修得し、中国語圏の文化的背景への理解のもとで、中国語を適切に運用できる。	• 国際関係論と地域研究の学修に関して、社会科学の立場から、必要な情報を収集・調査・分析することができるとともに、英語をはじめ、東アジアで活躍するための中国語または朝鮮語の基礎語学力を身につけている。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」	• 流動的に変化している国際情勢や世界の文化・社会の諸問題に関する学修を通して、グローバルな視点から事象を多面的に捉え、学際的・複眼的に思考して解決策を探求し、多様な人種や文化を背景に持つ社会の中で、自分の意見を英語で明晰に表現することができる。	• 変化が著しい中国語圏をはじめとする諸地域の文化や社会情勢に関する学修を通して、様々な事象に対し総合的、論理的に思考することができ、自分の考えや判断を表現することができる。	• 国際情勢に関する学修を通して、様々な事象に対し総合的、論理的な思考・判断により、解決策を提案できる応用力を持つとともに、専門的見地から自分の考えや判断を表現することができる。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」	• 広く国際的な視野を身につけるための学修を通して、多種多様な国籍の文化や言語を背景に持つ他者と協働して効果的に活動できるコミュニケーション力を有している。	• 多様な民族や文化を包摂する中国語圏に関する学修を通して、多様な文化や言語を背景に持つ他者と協働して活動できるコミュニケーション力を有している。	• 国際的な観点から行う地域の特性に関する学修を通して、多様な文化や言語を背景に持つ他者と協働して活動できるコミュニケーション力を有している。
社会で生きる「自律的行動力」	• 英語や異文化に関する学修を通して、文化・社会への関心とキャリア意識を持ち続け、広い視野を持つ国際人として、主体的に行動できる。	• 中国語の運用能力や中国語圏の文化・社会に関する学修を通して、文化・社会への関心を持ち続け、より良き未来に向けて行動できる。	• 国際社会に関する学修を通して、国際関係と地域研究への関心を持ち続け、グローバル社会の一員として貢献できる姿勢を身につけている。

経済学部

観点＼学科	経済学科	経営情報学科
豊かな「知識」	• 専門分野である経済学の基礎知識を修得し、それを基にした応用知識を体系的・総合的に身につけている。	• 専門分野である「経営学」、「会計学」、「情報科学」の基礎知識および応用知識を体系的に身につけ、企業をはじめとする様々な組織の経営活動について理解している。
知識を活用できる「技能」	• 経済学の専門知識を活かして、問題解決に向けて、必要とされる情報を自ら収集するとともに、「経済モデル」の展開と「データ」の分析を行うスキルを身につけている。	• 「経営学」、「会計学」、「情報科学」の学修を通じて、経営に関わる諸問題の解決に必要とされる「企業」、「財務・会計」、「情報システム」の分析を行うスキルを身につけている。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」	• 経済学の知識と分析スキルにより、社会・経済の動向を論理的に考察し、専門的見地から自身の考えや判断を表現することができる。	• 「経営学」、「会計学」、「情報科学」の知識と分析スキルにより、様々な組織を取り巻く経営環境の変化や社会の動向を論理的に考察し、専門的見地から自身の考えや判断を表現することができる。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」	• 経済学の学修を通じて、組織やチームのメンバーと積極的な議論をしながら、協働して経済や社会の諸問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている。	• 様々な組織の経営に関する学修を通じて、組織やチームのメンバーと積極的な議論をしながら、協働して組織経営の諸問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている。
社会で生きる「自律的行動力」	• 経済学の応用分野や地域経済に関する学修を通して、社会・経済への関心を持ち続け、社会の発展に向けて取り組む意欲を有している。	• 「経営学」、「会計学」、「情報科学」の学修を通して、様々な組織の経営活動に関心を持ち続け、社会の発展に向けて取り組む意欲を有している。

文学部

観点＼学科	比較文化学科	人間関係学科
豊かな「知識」	• 文化資源の保存・活用及び多様な文化の交流・共生について幅広い知識を身につけているとともに、文学、思想、言語、歴史、美術、宗教、生活文化、メディアなどの自らの専門分野について体系的に理解している。	• 人間関係及び人間と社会や自然との関係を解明するための基礎的な知識や概念、法則を体系的に身につけ、学修によって得られた知識と現実の人間関係にかかわる課題とのつながりを理解している。
知識を活用できる「技能」	• 英語もしくはそれ以外の諸言語を用いて基本的なコミュニケーションができるとともに、専門書など必要な文献を読みこなすことができ、自らの専門分野についての研究方法を身につけている。	• 人間関係の諸原理の解明に関し、必要な調査や実験を実施するための基礎的な方法論をはじめ、資料やデータを分析して結論を導くための技能を身につけている。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」	• 文化資源・文化共生の課題について、論理的に思考し判断する力と、自文化を論理的かつ的確に発信する力を身につけている。	• 人間関係の諸原理を解明する学修を通して、様々な事象に対し総合的、論理的に考察し、専門的な見地から自らの考えや判断を表現することができる。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」	• 文化資源・文化共生の学修を通して、地域社会におけるつながりを創り出す力と、他者と協働し、組織や社会の活動を促進する力を身につけている。	• 人間関係の諸課題に関する学術的研究を通して、多様な考えを持つ他者と包括的な議論を行いながら、協働して活動できる力を有している。
社会で生きる「自律的行動力」	• 文化資源・文化共生への理解を通して、地域・国際社会における文化の振興と交流に貢献する姿勢を身につけている。	• 人間関係の諸課題について問題意識を持ち続け、学修成果である人間関係及び人間と社会や自然との関係を理解し、実践につなげる姿勢を身につけている。

法学部

観点＼学科	法律学科	政策科学科
豊かな「知識」	• 社会において生起する様々な法的問題を読み解くための法学に関する知識を体系的に身につけている。	• 21世紀の市民として、「政治・民主主義」の基礎知識及びまちづくり、環境政策、社会政策、都市政策などの公共政策分野の課題解決に必要な専門的知識を体系的・包括的に身につけている。
知識を活用できる「技能」	• 法的な問題点を抽出し、その解決に必要となる情報を自ら収集・分析・整理するとともに、法令を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている。	• 政策科学の学修を通じて、政策の立案に向けて必要なデータを読み解くとともに、フィールドワークや統計処理などの手法により調査・分析を行うことができる。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」	• 法学に関する様々な課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行い、そのプロセスや結論を口頭や文章で論理的に表現することができる。	• 社会が抱える問題への政策を考察する学修を通じて、個別・具体的な課題を発見し、社会科学の観点からの論理的な分析をもとに、様々な観点から物事を捉えた独自の政策を立案し、その効果を評価できる力を身につけている。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」	• 法学の学修を通じて、異なる意見を持つ他者との議論を行いながら、協働して法的問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている。	• 公共政策課題の解決に向けた政策に関する学修を通じて、幅広い分野と交流して異なる意見をもつ他者と議論を行いながら、建設的・効果的にコミュニケーションを取って協働することができる。
社会で生きる「自律的行動力」	• 法学の学修を通じて、社会において生起する様々な法的問題に関心を持ち続け、より良い社会の実現に向けて行動する姿勢を身につけている。	• 公共政策に関する学修を通じて、社会が抱える問題を政策的に考える意欲を持ち続け、より良い市民社会の実現に向けて行動できる姿勢を持っている。

地域創生学群

観点＼学類	地域創生学類
豊かな「知識」	• **地域の再生と創造に関する専門知識を地域との関わりの中で総合的に理解している。**
知識を活用できる「技能」	• 地域の再生と創造に関する専門知識と地域活動を効果的に推進するための技術を、実践的に活用できる。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」	• 多面的な視野から地域が抱える問題の本質に迫り、創造的な思考と論理的な判断による解決案を、多様な他者に適切に伝えることができる。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」	• 地域社会の中で多様な他者との豊かな関係を築くことができ、地域の再生と創造に向けて協力的に活動を進めることができる。
社会で生きる「自律的行動力」	• 地域創生学の学修を通じて、地域の現状に関心を持ち続けながら、地域と社会の発展に向けて自律的に行動できる力を有している。

国際環境工学部

観点＼学科	環境化学工学科	機械システム工学科	建築デザイン学科	生命工学科
豊かな「知識」	• 数学・物理・化学などの自然科学に関する基礎学力と工学全般の基礎知識の上に、化学に関する専門知識と実践力を身につけ、それらの知識を化学工業、資源・エネルギー問題、環境問題と関連づけて理解している。	• 数学・物理などの自然科学に関する基礎学力と工学全般の基礎知識の上に、ものづくりに必要な機械工学の基本的知識・基礎的学力を有し、環境問題をふまえた広い視野を持って重要な概念や知識を体系的に理解している。	• 数学・物理・化学などの自然科学に関する基礎学力と工学全般の基礎知識の上に、地球環境を視野に入れた総合的な視点をふまえた専門知識を有し、建築学を過去から未来へ繋がる豊かな人間環境と空間形成として体系的に理解している。	• 生物・化学・数学・物理などの自然科学に関する基礎学力と工学全般の基礎知識の上に、生命科学、物質科学、環境科学を基本とした専門的知識を総合的に身につけている。
知識を活用できる「技能」	• 化学分野の技術開発や環境問題の把握・解決に必要とされる基本的な実験技術、データ整理、科学的な解析能力を身につけている。	• 機械システム分野の技術開発に必要とされる機械工学、機械力学、材料力学、熱力学、流体力学、制御・システム工学などの基本的技能を身につけている。	• 建築学分野の技術開発に必要とされる、地球環境に配慮した建築、地域・都市の計画、設計、施工、保全、再生などの基本的技能を身につけている。	• 生命工学分野に関する生物・化学・物理実験・調査、数理解析などを行うことができ、結果をふまえて、生態系や環境、社会に配慮しながら技術開発を進める基本的技能を身につけている。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」	• 環境化学工学分野の学修を通じて、自ら得たデータや解析結果にもとづき化学の視点から論理的に思考・判断することによって、問題解決法を生み出す応用力を持つとともに、自らの思考・判断のプロセス、結論を適切な方法で表現することができる。	• 環境問題を考慮した上での機械システム技術の学修を通じて、新たな機械工学上の課題について、環境への負荷軽減や広い視野から諸課題を捉えて思考・判断し、自らの思考・判断のプロセス、結論を適切な方法で表現することができる。	• 建築学分野に関する学修を通じて、国際的及び持続可能性の視点をもって様々な課題を抽出し、地球環境に配慮しながら解決方法を企画・立案し、自らの思考・判断のプロセス、結論を適切な方法で表現することができる。	• 生命工学分野に関する学修を通じ、生命や環境における様々な課題について、生物・生態系が持つ高度な仕組みを活用した新技術や環境管理方法を企画・立案し、自らの思考・判断のプロセス、結論を適切な方法で表現することができる。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」	• 環境化学工学分野の実験・実習科目やインターンシップ、卒業研究などを通じて、地域や組織での活動において自分の考えを相手に効果的に伝える技術や、他者と協力して相互に啓発し合いながら問題解決に取り組む力を身につけている。	• 機械システム分野の立場から演習・実験や卒業研究、インターンシップなどを通じて、地域や組織の中で自分の考えを相手に効果的に伝え、他者と協力して相互に啓発し合いながら問題解決に取り組む力を身につけている。	• 建築学分野の立場から卒業研究・卒業設計、インターンシップなどを通じて、地域や組織の中で自分の考えを相手に効果的に伝え、他者と協力して相互に啓発し合いながら問題解決に取り組む力を身につけている。	• 生命工学分野の立場から演習・実験や卒業研究、フィールドワーク、インターンシップなどを通じて、地域や組織の中で自分の考えを相手に効果的に伝え、他者と協力して相互に啓発し合いながら問題解決に取り組む力を身につけている。
社会で生きる「自律的行動力」	• 環境化学工学分野の学修を通じて、化学技術者としての社会的責任感と倫理観を身につけ、地球規模で抱えている資源・エネルギー問題や環境問題への関心を持ち続け、問題解決に向けた意欲と行動力を有している。	• 機械システム分野の学修を通じて、各方面で自律的・継続的に学ぶ意欲を持ち、技術が社会に及ぼす影響をふまえた社会的責任感と倫理観のもと、問題解決に向けて積極的・主体的に行動する力を身につけている。	• 持続可能な国際社会の形成に貢献できる「アーキテクト・マインド」を修得する建築学分野の学修を通じて、自律的・継続的に学ぶ意欲を持ち、技術が社会に及ぼす影響をふまえて、社会的責任感と倫理観のもと、問題解決に向けて積極的・主体的な行動力を身につけている。	• 生命工学分野の学修を通じて、自律的・継続的に学ぶ意欲を持ち、技術が社会に及ぼす影響をふまえて、社会的責任感と倫理観のもと、問題解決に向けて積極的・主体的な行動力を身につけている。

情報イノベーション学部

観点＼学部・学科	情報イノベーション学部	情報エンジニアリング学科	共創社会システム学科
豊かな「知識」	• 情報工学、データサイエンス、人工知能（AI）技術の理論を理解し、環境・エネルギー等の社会課題への応用を含めて、分野横断的な知識を体系的に修得している。	• 数学、統計学、情報理論、プログラミングなどの基礎に基づき、情報の構造、処理、伝達、制御に関する理論と方法を体系的かつ実践的に理解するとともに、技術の進展や多様な応用領域に柔軟に対応できる基盤的な知識を備えている。	• 統計学や情報工学などを活かしつつ、経済・経営・心理・環境といった領域の視点から社会課題について考えるための基礎知識と、資源循環などの社会システムの設計・評価といった応用領域を学び、社会と情報技術の関係を俯瞰的に理解している。
知識を活用できる「技能」	• データ収集・分析・可視化、システム開発などを通じて、情報技術を社会課題の解決に実装・応用するための基本的な技能を身につけている。	• 情報システムの設計・開発から、データの利活用、人と機械の連携、ハードウェアとソフトウェアの統合的な制御に至るまで、情報技術を実社会に応用するための基礎的かつ実践的な技能を身につけている。	• データサイエンスや人工知能（AI）の活用を通じて社会課題を定量的に捉え、社会構造を論理的に整理・分析し、情報倫理に配慮した新たなテクノロジーを応用するための実践的技能を身につけている。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」	• 実社会の複雑な課題に対して、デザイン思考を活用し、データに基づいて論理的に分析・判断したうえで、創造的かつ持続可能な価値を構想・表現できる。	• 情報技術に関する学修を基盤に、実社会の課題に対して人間中心・社会価値志向の視点から創造的に思考し、データや技術的根拠に基づいて論理的に判断し、課題解決に資する製品・システム・サービスのかたちで具体的に表現できる。	• データに基づいて社会課題を論理的に抽出し、デザイン思考を活用して持続可能な価値の創出を見据え、自らの考えを創造的に表現できる。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」	• 異分野・異文化との協働や地域との連携において、多様な視点を整理・統合し、課題解決に向けた提案や発信を行うことで、持続可能な社会づくりやGX（Green Transformation）の実現に貢献できる。	• 異分野・異文化との連携において、情報技術を駆使しながら協働し、グローバルな視点と情報倫理を踏まえ、多様な立場を尊重しながら、自己の考えを適切に発信できる。	• 社会的な課題に対して、異分野・異文化と連携しつつ、情報技術を駆使しながら協働し、地域とグローバルな視点および情報倫理を踏まえ、多様な立場を尊重しながら、自己の考えを適切に発信できる。
社会で生きる「自律的行動力」	• 変化の激しい社会・技術環境に柔軟に対応し、自律的に学び続ける姿勢を持ち、データとAIを活用して持続可能な未来を構築するための社会実装力を備えている。	• 情報技術の進展に柔軟に対応し、自己学習を継続しながら、持続可能な社会の構築に向けた探究心と社会実装力を身につけている。	• 社会や環境の変化を捉えて自律的に学び、課題を主体的に設定し、理論と実践の往還を通じて持続可能な社会や地域との共創に貢献する力を身につけている。

4　入試情報の成績開示について

北九州市立大学では、以下の要領で入学試験個人情報の開示を行います。

(1)　開示する入試個人情報の範囲

開示する2027年度の入試情報の範囲は次のとおりです。

①　試験結果　　基礎学力テストの科目別得点及び合計点
②　総得点
③　出願書類（ただし、「推薦書」は除く）
④　調査書　（ただし、「総合的な探究（学習）の時間の内容・評価」、「指導上参考となる諸事項」及び「備考」は除く）

(2)　開示請求の方法

以下の書類を揃えて受付窓口に申請してください。
ただし、請求ができるのは受験生本人のみです。

①　窓口で請求する場合

- **北九州市立大学入学試験個人情報開示請求書**
- **返信用封筒**（長形３号）　切手460円分を貼り、送付先の住所、宛名を記入したもの。
- **本人を証明するもの**　**本人を確認できる写真入りの証明書（原本）又は本学受験票（原本）**を持参してください。
  （証明書の例：大学入学共通テストの受験票、学生証、運転免許証等）

②　郵便で請求する場合

- **北九州市立大学入学試験個人情報開示請求書**
- **返信用封筒**（長形３号）　切手460円分を貼り、送付先の住所、宛名を記入したもの。
- **本学受験票（Ａ４用紙にコピー）**
- **本人を証明するもの**　**本人を確認できる写真入りの証明書（Ａ４用紙にコピー）**
  （証明書の例：大学入学共通テストの受験票、学生証、運転免許証等）
  ＊ただし、写真が鮮明なものに限る

※　受験時と氏名が異なっている場合は戸籍謄本等も同封（窓口申請の場合は持参）してください。
※　添付書類に不備がある場合は、受理できません。

(3)　入試情報の開示（通知）方法

①　試験結果の開示の場合
・請求後、返信用封筒に成績通知書を入れて、簡易書留で送付します。（**１ヶ月程度必要です。**）

②　出願書類・調査書の開示の場合
・受付窓口での閲覧のみとなります。（コピー不可）
・申請受付後に本人宛に送付する成績通知書を受付窓口に持参してください。
・閲覧の際は、成績通知書の他に本人を証明するものを持参してください。
（証明書の例：大学入学共通テストの受験票、学生証、運転免許証等）

(4)　開示請求書（様式）について

北九州市立大学入学試験個人情報開示請求書は、2027年4月に本学ホームページに掲載します。

(5)　開示請求の受付期間等

受付期間　　2027年５月６日（木）～５月31日（月）（土、日、祝日除く）
閲覧期間　　2027年６月１日（火）～６月30日（水）（土、日、祝日除く）
受付・閲覧時間　平日　9：00～16：00（12：15～13：15を除く）

〈受付窓口・お問い合わせ先〉
【外国語・経済・文・法・情報イノベーション学部、地域創生学群】
〒802-8577　北九州市小倉南区北方四丁目２番１号
北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係　　TEL 093-964-4022
【国際環境工学部】
〒808-0135　北九州市若松区ひびきの１番１号
北九州市立大学 学務課入学試験係　　TEL 093-695-3340

５　個人情報の取扱いについて

北九州市立大学は出願に関して本学に提供された個人情報について、公立大学法人北九州市立大学個人情報保護管理規程に基づき、適切に取り扱います。

【個人情報の利用目的について】

本学が取得した個人情報については、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

⑴志願者の氏名、生年月日、連絡先、成績などの個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続、調査研究及びこれらに付随する業務の遂行に利用します。

⑵合格者の個人情報は、入学手続者に対する入学前指導、入学後の教務関係、学生支援関係、授業料徴収関係などに関する業務のために利用します。

⑶国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格者決定業務を円滑に行うため、合否及び入学手続等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学へ提供します。

【個人データの取扱いの委託について】

本学は、利用目的の範囲内で、個人情報の取扱い業務の一部又は全部を外部に委託することがあります。この場合、個人情報を適切に取り扱っていると認められる委託先を選定し、契約等において個人情報の適正管理・機密保持等により個人情報の漏洩防止に必要な事項を取り決め、適切な管理を実施させます。

６　個人用ノートパソコンの必携について

本学では、授業、履修登録、レポートの作成・提出、教員や大学からの連絡等でパソコンを活用しています。また、個人パソコンを使っての授業も予定されていますので、本学に入学の際は個人用ノートパソコンをご準備（必携）いただきますよう、あらかじめご案内いたします。

なお、ノートパソコンに必要な機能や推奨スペックなど詳細につきましては、今後、本学ホームページ等でご案内いたします。

＜お問い合わせ先＞

【外国語・経済・文・法学部、地域創生学群】

北九州市立大学 学術振興課教務第一係　TEL：093-964-4036

【情報イノベーション学部】

北九州市立大学 新学部設置準備課　TEL：093-964-4035

【国際環境工学部】

北九州市立大学 学務課教務係　TEL:093-695-3330

７　情報イノベーション学部設置のお知らせ

本学では、2027年４月、新たに「情報イノベーション学部」を設置します。

詳細は、随時本学ホームページ等で公表します。

学部名称	**情報イノベーション学部**
学科名称	**情報エンジニアリング学科（入学定員：68名）** **共創社会システム学科（入学定員：50名）**
入学定員	**118名（収容定員472名）**
学位	**学士（情報工学）**

※2027年度の授業は北方キャンパスで実施します。

※情報イノベーション学部のキャンパスとなる旦過キャンパスは2028年度の供用開始を予定しています。

2027年度　北九州市立大学　学校推薦型選抜被推薦者名簿

【外国語・経済・文・法・情報イノベーション学部、地域創生学群 用】

都道府県		国立・公立・私立 （○で囲む）	学校名	

学部等	学科等	推薦区分	1校での推薦枠	被推薦者の氏名	
外国語	英米	全国	制限なし		
		地域	3名		
	中国	全国	2名		
	国際関係	全国	2名		
経済		全国	2名		
		地域	6名		
		商業科・総合学科	4名		
文	比較文化	全国	4名		
		地域	6名		
		特別	2名		
	人間関係	全国	2名		
		地域	3名		
		特別	2名		
法	法律	全国	制限なし		
	政策科	全国	制限なし		
地域創生	地域創生	全国	1名		
		特別	2名		
情報イノベーション		全国	制限なし		
		地域	1名		

被推薦者総数　【　　】名

高 等 学 校 長 へ の お 願 い

2027年度北九州市立大学学校推薦型選抜のうち、外国語学部英米学科（地域推薦）・中国学科・国際関係学科、経済学部、文学部、地域創生学群、情報イノベーション学部（地域推薦）につきましては、1高等学校あたりの推薦枠を設定しております。

また、市外高等学校出身者が地域推薦に出願する場合、**「本人（情報イノベーション学部は「本人又は扶養者」）」が「2026年4月1日以前から出願日までに引き続き北九州市内に居住している」**ことを満たしていることが必要ですので、ご確認ください。なお、この要件を満たしていないことが判明した時には、合格を取り消すことになります（情報イノベーション学部については出願を認めません）のでご注意ください。

高等学校長におかれましては、これらの点を十分に踏まえまして、ご推薦いただきますようお願いいたします。

また、出願に際しましては、受付事務を円滑に行うため、この名簿に被推薦者の氏名を記入いただき、**名簿同封のうえ高等学校にて名簿記載者全員の出願書類を一括送付**していただきますようお願いいたします。その際、出願書類が志願者ごとに、封筒に封入されているか確認してください。 志願者が１名の場合も本用紙を同封してください。

なお、外国語学部英米学科（全国推薦）、法学部、情報イノベーション学部（全国推薦）は学校長推薦枠の制限はございません。ただし、学校長の推薦を出願要件にしておりますので、被推薦者名簿の提出をお願いいたします。

北九州市立大学長

＜出願先・お問い合わせ先＞
北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係
〒802－8577　北九州市小倉南区北方四丁目２番１号
TEL　093－964－4022

2027年度　北九州市立大学　学校推薦型選抜被推薦者名簿

【国際環境工学部 用】

都道府県		国立・公立・私立 （〇で囲む）	学校名	

学部	学科	推薦区分	1校での推薦枠	被推薦者の氏名	
国際環境工	環境化学工	全国	制限なし		
	機械システム工	全国	４名		
	建築デザイン	全国	制限なし		
	生命工	全国	制限なし		

被推薦者総数　【　　】名

高 等 学 校 長 へ の お 願 い

2027年度北九州市立大学学校推薦型選抜のうち、国際環境工学部機械システム工学科につきましては、１高等学校あたりの推薦枠を設定しております。

高等学校長におかれましては、この点を十分に踏まえまして、ご推薦いただきますようお願いいたします。

また、出願に際しましては、受付事務を円滑に行うため、この名簿に被推薦者の氏名を記入いただき、**名簿同封のうえ高等学校にて名簿記載者全員の出願書類を一括送付**していただきますようお願いいたします。その際、出願書類が志願者ごとに、封筒に封入されているか確認してください。志願者が１名の場合も本用紙を同封してください。

なお、環境化学工学科・建築デザイン学科・生命工学科は、学校長推薦枠の制限はございません。ただし、学校長の推薦を出願要件にしておりますので、被推薦者名簿の提出をお願いします。

北九州市立大学長

＜出願先・お問い合わせ先＞
北九州市立大学　学務課入学試験係
〒808-0135　北九州市若松区ひびきの１番１号
TEL　093-695-3340

外国語学部英米学科用

受験番号	※

※欄は記入しないでください。

２０２６年　　月　　日

推薦書

北九州市立大学長　様

所 在 地

学 校 名

学校長名　　印

下記の者は、貴大学が定める推薦要件を備えていると認め、貴大学へ推薦します。

志　望	外国語学部 英米学科	フリガナ	
		氏　名	
		生年月日	年　月　日
推薦種別	該当するものに☑（チェック）を入れてください。 ☐ 全国推薦　☐ 地域推薦		
推薦要件 (基礎要件)	全国推薦のみ、該当するものに☑（チェック）を入れてください。 ☐ 実用英語技能検定準１級以上 ☐ TOEFL iBT 68 点以上(旧) ☐ TOEFL iBT 3.5 点以上(新) ☐ TOEIC L&R 640 点以上 ☐ GTEC 1230 点以上		

（裏面へ）

志願者本人の学習歴や活動歴を踏まえ、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」それぞれの観点から、入学意欲及び勉学に対する適性等についてご記入ください。【720 字以内】

本書の記載事項に誤りがないことを証明する。

記載責任者名　　㊞

（注 1）作成は、「自筆で記入」又は「様式データに直接入力」してください。様式データに直接入力する場合、フォームの変更（枠の幅・高さを変更、ページ数を増やす、フォントの大きさを変更等）は、しないでください。

（注 2）Ａ４両面で印刷してください。

（注 3）必要事項の記入（入力）、学校長印・記載責任者名印の押印に漏れがないようご注意ください。

（注 4）全国推薦は、推薦要件に該当する資格証明書（写し）を添付してください。

様式１

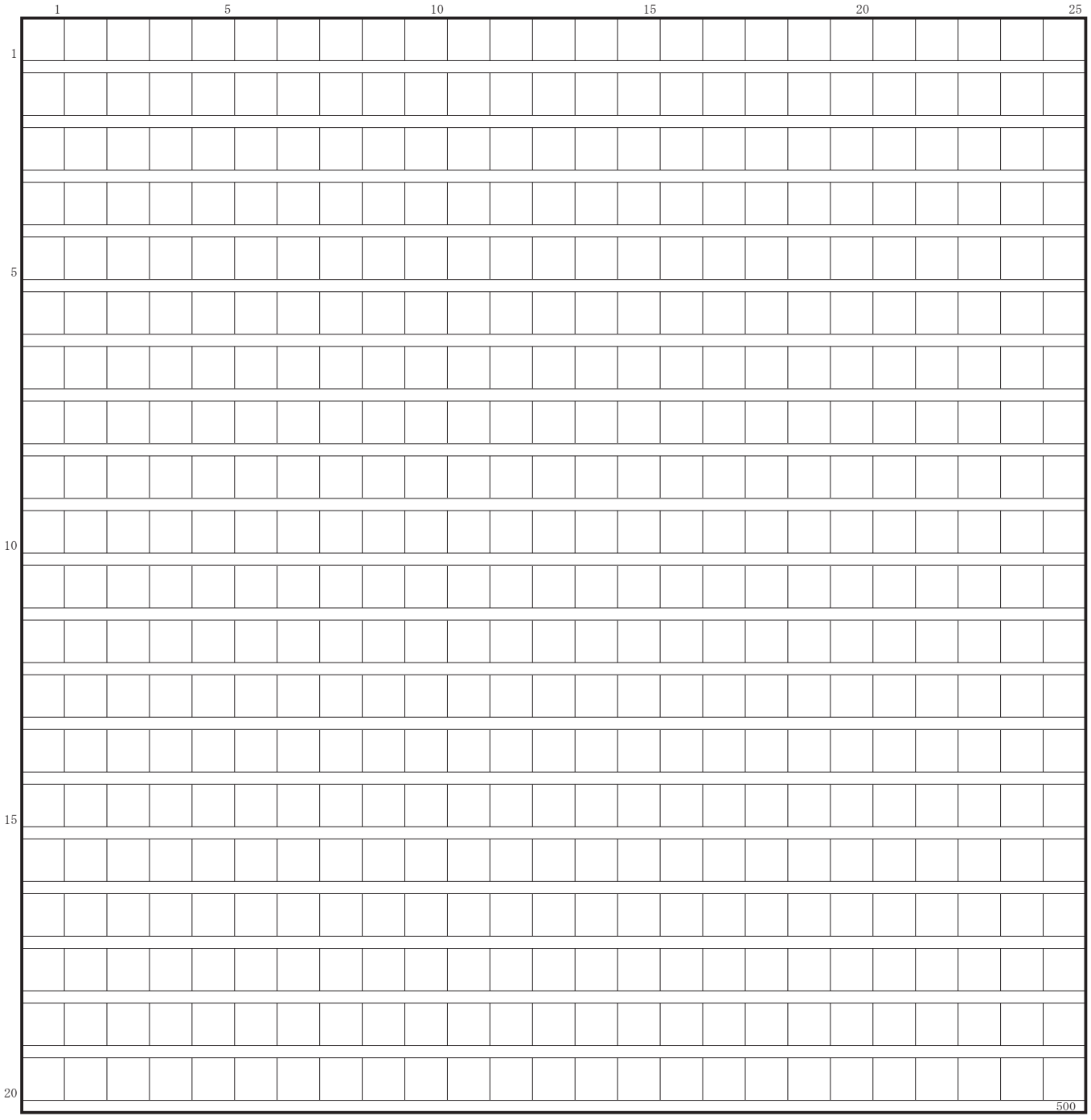
入学希望理由書(外国語学部英米学科 全国推薦用)

フリガナ	
氏　　名	

※

※印欄は記入しない

入学希望の理由、将来の希望・方針を500字以内で自筆で記入してください。
(横書きで記入。鉛筆不可)



外国語学部中国学科用

受験番号	※

※欄は記入しないでください。

２０２６年　　月　　日

推薦書

北九州市立大学長　様

所 在 地

学 校 名

学校長名　　印

下記の者は、貴大学が定める推薦要件を備えていると認め、貴大学へ推薦します。

志　望	外国語学部	フリガナ	
		氏　名	
	中国学科	生年月日	年　月　日
推薦種別	全国推薦		
添付書類（ある場合）	本書又は調査書に語学資格を記載する場合は、該当するものに☑（チェック）を入れ、資格を証明する書類の写し（コピー）を添付してください。（複数選択可） ※添付書類がある場合のみ記入してください。（ない場合は記入不要） ※資格を証明する書類の写しの提出がない場合は、記載があっても評価対象となりません。 ☐ 実用英語技能検定（英検） ☐ 国連英検 ☐ TOEFL iBT ☐ TOEIC L&R ☐ GTEC ☐ 中国語検定 ☐ HSK 漢語水平考試 ☐ 韓国語能力試験 ☐ ハングル能力検定 ☐ その他の資格（名称：　　）		

（裏面へ）

志願者本人の学習歴や活動歴を踏まえ、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」それぞれの観点から、入学意欲及び勉学に対する適性等についてご記入ください。【720 字以内】

本書の記載事項に誤りがないことを証明する。

記載責任者名　　㊞

（注 1）作成は、「自筆で記入」又は「様式データに直接入力」してください。様式データに直接入力する場合、フォームの変更（枠の幅・高さを変更、ページ数を増やす、フォントの大きさを変更等）は、しないでください。

（注 2）Ａ４両面で印刷してください。

（注 3）必要事項の記入（入力）、学校長印・記載責任者名印の押印に漏れがないようご注意ください。

（注 4）語学資格を記載する場合、資格証明書（写し）を添付してください。

様式２

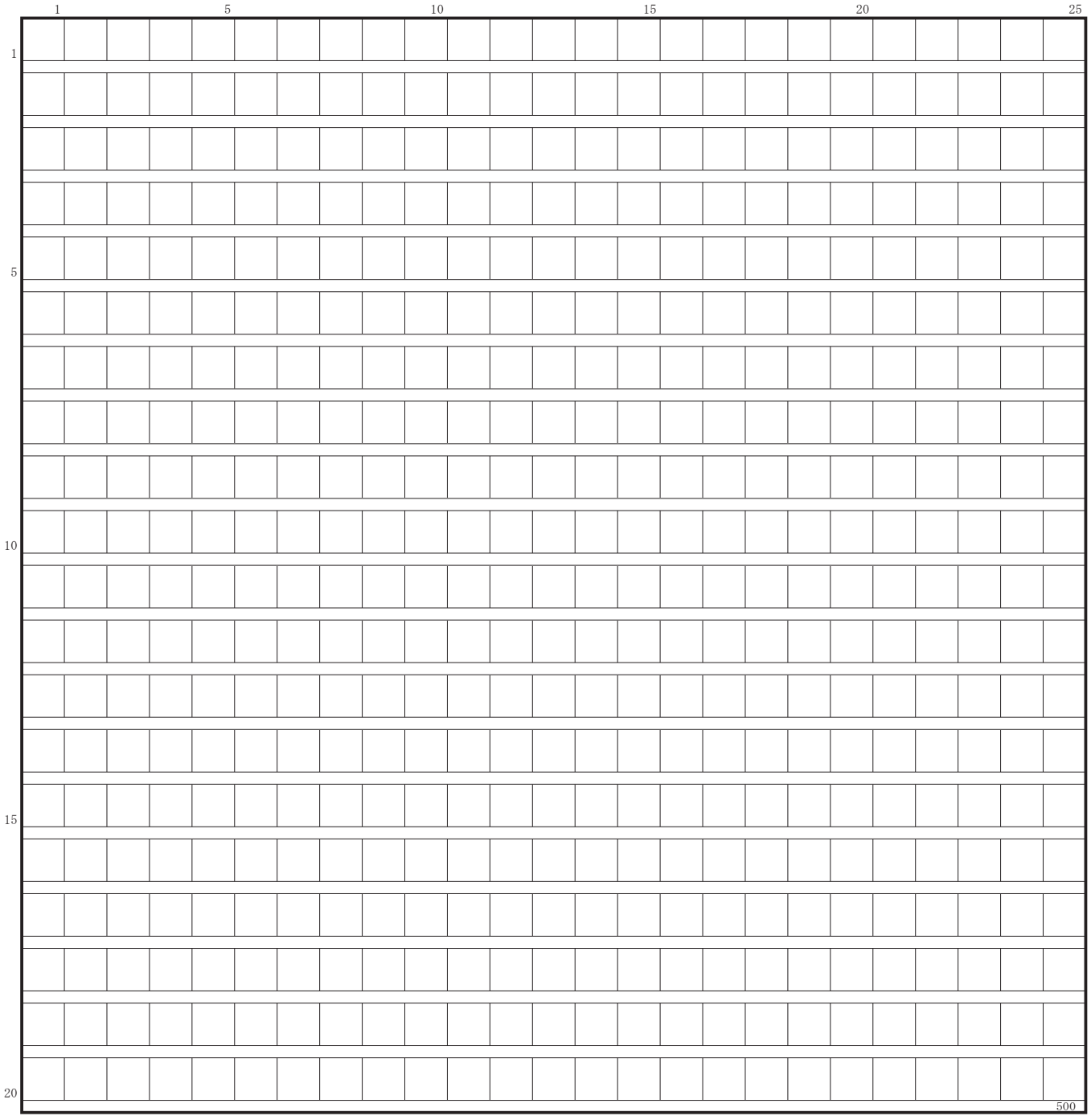
入学希望理由書（外国語学部中国学科用）

フリガナ	
氏　　名	

※

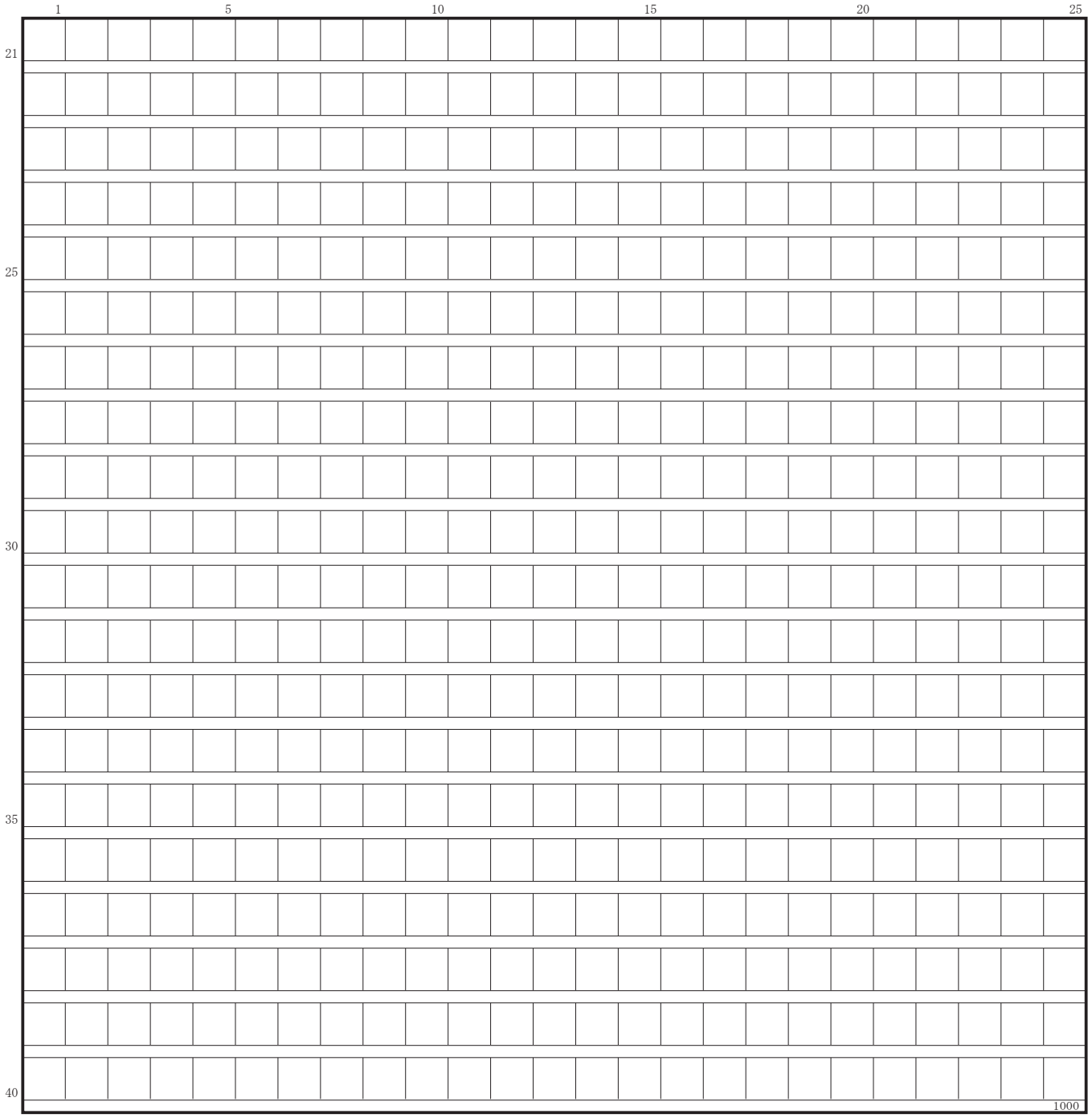
※印欄は記入しない

入学希望の理由、将来の希望・方針を1000字以内で自筆で記入してください。
（横書きで記入。鉛筆不可）



（裏面へ）

表面から



必ず両面印刷すること

外国語学部国際関係学科用

受験番号	※

※欄は記入しないでください。

２０２６年　　月　　日

推薦書

北九州市立大学長　様

所 在 地

学 校 名

学校長名　　印

下記の者は、貴大学が定める推薦要件を備えていると認め、貴大学へ推薦します。

志　望	外国語学部 国際関係学科	フリガナ	
		氏　名	
		生年月日	年　月　日
推薦種別	全国推薦		
添付書類 （ある場合）	本書又は調査書に語学資格を記載する場合は、該当するものに☑（チェック）を入れ、資格を証明する書類の写し（コピー）を添付してください。（複数選択可） ※添付書類がある場合のみ記入してください。（ない場合は記入不要） ※資格を証明する書類の写しの提出がない場合は、記載があっても評価対象となりません。 ☐ 実用英語技能検定（英検） ☐ 国連英検 ☐ TOEFL iBT ☐ TOEIC L&R ☐ GTEC ☐ 中国語検定 ☐ HSK 漢語水平考試 ☐ 韓国語能力試験 ☐ ハングル能力検定 ☐ その他の資格（名称：　　）		

（裏面へ）

志願者本人の学習歴や活動歴を踏まえ、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」それぞれの観点から、入学意欲及び勉学に対する適性等についてご記入ください。【720 字以内】

本書の記載事項に誤りがないことを証明する。

記載責任者名　　㊞

（注 1）作成は、「自筆で記入」又は「様式データに直接入力」してください。様式データに直接入力する場合、フォームの変更（枠の幅・高さを変更、ページ数を増やす、フォントの大きさを変更等）は、しないでください。

（注 2）Ａ４両面で印刷してください。

（注 3）必要事項の記入（入力）、学校長印・記載責任者名印の押印に漏れがないようご注意ください。

（注 4）語学資格を記載する場合、資格証明書（写し）を添付してください。

経済学部用

受験番号	※

※欄は記入しないでください。

２０２６年　　月　　日

推薦書

北九州市立大学長　様

所在地

学校名

学校長名　　印

下記の者は、貴大学が定める推薦要件を備えていると認め、貴大学へ推薦します。

志望	経済学部	フリガナ	
		氏名	
		生年月日	年　　月　　日
推薦種別	該当するものに☑（チェック）を入れてください。 ☐ 全国推薦　☐ 地域推薦　☐ 商業科・総合学科推薦		

（裏面へ）

志願者本人の学習歴や活動歴を踏まえ、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」それぞれの観点から、資格取得等申告書（経済学部・推薦書別紙）に記載される内容以外で、入学意欲及び勉学に対する適性等についてご記入ください。【720 字以内】

本書の記載事項に誤りがないことを証明する。

記載責任者名　　㊞

（注 1）作成は、「自筆で記入」又は「様式データに直接入力」してください。様式データに直接入力する場合、フォームの変更（枠の幅・高さを変更、ページ数を増やす、フォントの大きさを変更等）は、しないでください。

（注 2）Ａ４両面で印刷してください。

（注 3）必要事項の記入（入力）、学校長印・記載責任者名印の押印に漏れがないようご注意ください。

（注 4）資格取得等申告書（経済学部・推薦書別紙）及び証明書（写し）を添付してください。

※

※印欄は記入しない

2027年度　資格取得等申告書(経済学部・推薦書別紙)

高等学校　生徒氏名＿＿＿＿＿＿＿＿

※ 本書は、出身学校長が作成し、推薦書とともに厳封してください。
高校在学中に取得した資格等について、該当する資格等の右の欄に〇印を記入してください。なお、①～⑤の同一グループ内で２つ以上の資格を取得している場合は、最上位の資格のみに〇印を記入してください。〇印を記入した資格については、必ず証明書の写し（コピー）を添付してください（評定平均値の証明書の写しは不要です）。 証明書の写しの添付がない場合、加点されません。

資格取得等一覧表（その１）（普通科・商業科・総合学科共通）

評点	① 英語検定グループ	〇印	② 数学検定グループ	〇印	評定平均値[注1]	〇印	その他の資格[注2]
10	実用英語技能検定１級 TOEFL iBT95以上（旧） TOEFL iBT5以上（新） TOEIC L&R945以上 GTEC1350以上						(1)
7	実用英語技能検定準１級 TOEFL iBT72以上（旧） TOEFL iBT4以上（新） TOEIC L&R785以上 GTEC1180以上		実用数学技能検定１級				(2)
5	実用英語技能検定２級 TOEFL iBT42以上（旧） TOEFL iBT3以上（新） TOEIC L&R550以上 GTEC930以上						(3)
3	実用英語技能検定準２級プラス 実用英語技能検定準２級 TOEFL iBT2以上（新） TOEIC L&R225以上 GTEC680以上 全商英語検定１級		実用数学技能検定準１級		評定平均値4.9以上		(4)
2	全商英語検定２級		実用数学技能検定２級		評定平均値4.8以上		(5)
1	実用英語技能検定３級 TOEIC L&R120以上 GTEC260以上 全商英語検定３級		実用数学技能検定準２級		評定平均値4.5以上		

注1）担任の先生又は校長先生が記入してください。
注2）「その他の資格」の欄には、一覧表に掲載されていない資格の名称と取得した級（または獲得スコア）を記入し、証明書の写し（コピー）を必ず添付してください。
注3）実用英語技能検定（英検）は英検S-CBTを含みます。なお、デジタル証明書での提出は認められません。
注4）提出すべき成績通知書は、TOEFL「Test Taker Score Report (Test Dateスコア)」、TOEIC「公式認定証」とします。
注5）（旧）は2026年１月20日までに受験した成績、（新）は2026年１月21日以降に受験した成績を対象とします。
注6）GTEC はオフィシャルスコアに限ります（CBT タイプを含む）。
注7）普通科に在籍している生徒で、「資格取得等一覧表(その2)」の資格を有している場合は、「その他の資格」として、申告してください。
注8）評点は、資格試験の内容や社会情勢によって変更されることがあります。
注9）資格試験等の名称の変更があった場合でも、実質的に同一のものとみなされる場合には、「その他」扱いとはせず、従前の加点の対象となります。

資格取得等一覧表（その２）（商業科・総合学科）

評点	③ 簿記検定グループ	〇印	④ 情報処理資格検定グループ	〇印	⑤ 販売士・商業経済検定グループ	〇印
10	日商簿記検定１級		応用情報技術者		－	－
7	－	－	基本情報技術者		リテールマーケティング（販売士）検定１級	
5	日商簿記検定２級		－	－	－	－
3	全商簿記実務検定１級 全経簿記能力検定１級		全商情報処理検定１級ビジネス情報 全商情報処理検定１級プログラミング ITパスポート		全商商業経済検定１級	
2	日商簿記検定３級 全商簿記実務検定２級 全経簿記能力検定２級		全商情報処理検定２級ビジネス情報 全商情報処理検定２級プログラミング		全商商業経済検定２級 リテールマーケティング（販売士）検定２級	
1	全商簿記実務検定３級 全経簿記能力検定３級		全商情報処理検定３級		全商商業経済検定３級 リテールマーケティング（販売士）検定３級	

注1）日商簿記検定は、CBT タイプを含みます。
注2）評点は、資格試験の内容や社会情勢によって変更されることがあります。
注3）資格試験等の名称の変更があった場合でも、実質的に同一のものとみなされる場合には、「その他」扱いとはせず、従前の加点の対象となります。

上記の資格取得等申告のとおり、相違ありません。

年　　月　　日

高等学校長＿＿＿＿＿＿＿＿　㊞

文学部用

受験番号	※

※欄は記入しないでください。

２０２６年　　月　　日

推薦書

北九州市立大学長　様

所在地

学校名

学校長名　　印

下記の者は、貴大学が定める推薦要件を備えていると認め、貴大学へ推薦します。

志望	文　　学部	フリガナ	
		氏名	
	学科	生年月日	年　　月　　日
推薦種別	該当するものに☑（チェック）を入れてください。 ☐ 全国推薦　　☐ 地域推薦　　☐ 特別推薦 ※地域推薦の推薦要件を満たす者の全国推薦出願を認めません。		

（裏面へ）

志願者本人の学習歴や活動歴を踏まえ、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」それぞれの観点から、入学意欲及び勉学に対する適性等についてご記入ください。【720 字以内】

本書の記載事項に誤りがないことを証明する。

記載責任者名　　㊞

（注 1）作成は、「自筆で記入」又は「様式データに直接入力」してください。様式データに直接入力する場合、フォームの変更（枠の幅・高さを変更、ページ数を増やす、フォントの大きさを変更等）は、しないでください。

（注 2）Ａ４両面で印刷してください。

（注 3）必要事項の記入（入力）、学校長印・記載責任者名印の押印に漏れがないようご注意ください。

（注 4）特別推薦は、推薦要件（基礎要件）に該当する「活動・資格等実績一覧表」、「活動・資格等の実績を証明する資料」（いずれも志願者が準備）を添付してください。

活動・資格等の実績に関する資料（文学部特別推薦用）

以下のものを志願者自身が作成の上、提出してください。

１） 活動・資格等実績一覧表

基礎要件に該当する活動・資格等の実績の全てを一覧表にしたものをA4版で作成してください。一覧表には、下にある表の項目を書いてください。なお、その実績には、優れている順に「①、②、③・・・」と評価順位を付けて、その順番に記入してください。その際、優先順位は、「全国」レベル、「地方ブロック」レベル、「都道府県」レベルの順にしてください。基礎要件が複数の活動･資格等に及ぶ場合は、各々に一覧表を作成してください。

２） 活動・資格等の実績を証明する資料

活動・資格等の実績を客観的に示す資料として以下のものを添付してください。（特に書式は定めません。ただし、DVDなど、紙以外の資料の提出はご遠慮ください。）

（ア）競技や創作などの活動の場合 ⇒ 大会プログラムや公式報告書、新聞記事など

（イ）社会活動、ボランティアなどの場合 ⇒ 公的報告書、所属した団体・機関による推薦書など

（ウ）資格の場合 ⇒ 認定証やスコアカードのコピー

志願者名が記載された資料など、志願者が該当の大会や活動に参加したことが分かる資料が必要です。また、必要に応じて、実績の内容が専門外の者にも分かるような資料や、各自で作成した資料も添付してください。

各資料には、活動・資格等実績一覧表のどの実績に対応するのかが分かるように、評価順位番号を記入してください。一つの実績に対応する資料が複数に及ぶ場合は「①(評価順位番号)－１、①－２・・・」などと記入し、ホッチキス等で綴じてください。綴じることが難しい場合は、ファイルなどに入れてください。

活動・資格等実績一覧表に実績ごとに記入すべき項目とその内容（例）

項　　目	記入すべき内容		
	(ア)競技や創作などの活動の場合	(イ)社会活動、ボランティアなどの活動の場合	(ウ)資格の場合
(１)評価順位	①、②、③・・・	①、②、③・・・	①、②、③・・・
(２)学年	開催時の学年	活動時の学年	取得時の学年
(３)年月	開催時期	活動期間	取得時期
(４)種目名等	競技などの種目名、大会名、大会主催者名、開催地	活動内容（頻度、場所､対象者など）	資格の名称など
(５)団体･個人の別	団体の場合、ポジションやパート及び役割や貢献度も記入		
(６)成績	順位や賞	表彰の名称や評価内容など	得点や級など
(７)大会規模と実施団体	「全国」レベル、「地方ブロック」レベル、「都道府県」レベルのいずれかを記入	表彰や活動の主催団体	資格を与える団体などの名称
(８)参加者数･参加校･応募数など	競技参加人数・応募者数や参加校・応募校の数など	活動の参加者数など	受験者数や合格率など
(９)賞のレベルや性格	コンテストやコンクール、展示会などの受賞の場合､受賞した人数､学校数(例えば、「銀賞」受賞の時には、その上位の賞の受賞者(校)数についても記入)	表彰などの場合、表彰の理由、表彰者の数、他の表彰との位置づけ	同種の資格の中でのランク（他の同種の資格との比較）
(10)その他特記事項	活動の内容に応じて特筆すべきことがあれば記入		

（作成例）

活動･資格等実績一覧表

志願者氏名　北九　太郎
高等学校名　▲▲　高等学校
志望学部・学科　文学部　人間関係学科

（1）評価順位	①	②	③
（2）学年	1年	2年	2年
（3）年月	●年●月●日	○年○月○日	△年△月△日
（4）種目名等	第●回全国吹奏楽コンクール	第○回全日本高等学校選抜吹奏楽大会	TOEIC（第△回）
（5）団体･個人の別	団体参加 アルトサックス担当	団体参加 アルトサックス担当	
（6）成績	銀賞	優秀賞	630点
（7）大会規模と実施団体	全国レベル 全日本吹奏楽連盟	全国レベル 日本高等学校吹奏楽連盟	（財）国際ビジネスコミュニケーション協会TOEIC運営委員会
（8）参加者数･参加校･応募数など	全国から選抜された29校	全国から選抜された17校	年間450万人が受験（60カ国で実施）
（9）賞のレベルや性格	出場29校中金賞11校･銀賞11校・銅賞7校	出場17校中グランプリ１校・ゴールデン賞４校・優秀賞12校	（他資格との比較）英検２級から準１級程度
(10) その他特記事項	現在も吹奏楽部活動継続中です。		第×回も受験（成績未受理）

＊　上記はあくまで作成例です。
＊　**「活動・資格等の実績を証明する資料」を必ず添付してください。（団体での出場の場合、志願者本人が参加したことを証明できる書類も必要です。）**

※

※印欄は記入しない

様式３

（文学部特別推薦用）

活動についての自己評価、入学希望理由書等（志願者自筆）

志願者自身が以下の欄に記入してください。（横書きで記入。鉛筆不可）

活動・資格等実績一覧表の活動について自分なりの評価、意味づけを書いてください。また、入学を希望する理由、将来の目標・方針について、現時点での考えを書いてください。

志願者氏名

法学部用

受験番号	※

※欄は記入しないでください。

２０２６年　　月　　日

推薦書

北九州市立大学長　様

所在地

学校名

学校長名　　印

下記の者は、貴大学が定める推薦要件を備えていると認め、貴大学へ推薦します。

志望	法　学部	フリガナ	
		氏名	
	学科	生年月日	年　月　日
推薦種別	全国推薦		

（裏面へ）

志願者本人の学習歴や活動歴を踏まえ、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」それぞれの観点から、在学中の学習姿勢、ならびに希望学科への適性（特定分野への関心及び意欲、将来設計との関連性）等についてご記入ください。【720 字以内】

本書の記載事項に誤りがないことを証明する。

記載責任者名　　㊞

（注 1）作成は、「自筆で記入」又は「様式データに直接入力」してください。様式データに直接入力する場合、フォームの変更（枠の幅・高さを変更、ページ数を増やす、フォントの大きさを変更等）は、しないでください。

（注 2）Ａ４両面で印刷してください。

（注 3）必要事項の記入(入力)、学校長印・記載責任者名印の押印に漏れがないようご注意ください。

（注 4）資格取得等申告書（法学部・推薦書別紙）及び証明書（写し）を添付してください。

※

※印欄は記入しない

2027年度　　資格取得等申告書(法学部・推薦書別紙)

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校　　生徒氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

※ 本書は、出身学校長が作成し、推薦書とともに厳封してください。

高校在学中に取得した資格等について、該当する資格等の右の欄に○印を記入してください。なお、①～③の同一グループ内で２つ以上の資格を取得している場合には、最上位の資格のみに○印を記入してください。○印を記入した資格については、必ず**証明書の写し（コピー）**を添付してください。証明書の写しの添付がない場合には、加点されません。

資格取得等一覧表

評点	①英語検定	○印	②英語以外の外国語検定	○印	③漢字検定ほか	○印
20	実用英語技能検定１級 TOEFL iBT100以上(旧) TOEFL iBT5以上(新) TOEIC L&R900以上 GTEC1280以上		ドイツ語技能検定１級 実用フランス語技能検定１級 中国語検定１級 KLAT（韓国語能力評価）５級以上 TOPIK（韓国語能力試験）６級 ハングル能力検定１級			
15	実用英語技能検定準１級 TOEFL iBT69以上(旧) TOEFL iBT3.5以上(新) TOEIC L&R645以上 GTEC 1230以上		ドイツ語技能検定準１級 実用フランス語技能検定準１級 中国語検定準１級 HSK（漢語水平考試）６級 KLAT（韓国語能力評価）４級 TOPIK（韓国語能力試験）５級 ハングル能力検定２級		日本漢字能力検定１級 ニュース時事能力検定１級	
10	実用英語技能検定２級 TOEFL iBT45以上(旧) TOEFL iBT3以上(新) TOEIC L&R445以上 GTEC 780以上		ドイツ語技能検定２級 実用フランス語技能検定２級 中国語検定２級 HSK（漢語水平考試）５級 KLAT（韓国語能力評価）３級 TOPIK（韓国語能力試験）４級 ハングル能力検定準２級		日本漢字能力検定準１級	
5	実用英語技能検定準２級プラス 実用英語技能検定準２級 TOEFL iBT35以上(旧) TOEFL iBT2.5以上(新) TOEIC L&R345以上 GTEC540以上		ドイツ語技能検定３級 実用フランス語技能検定準２級 中国語検定３級 HSK（漢語水平考試）４級 KLAT（韓国語能力評価）２級 TOPIK（韓国語能力試験）３級 ハングル能力検定３級		日本漢字能力検定２級 ニュース時事能力検定２級	
2	実用英語技能検定３級 TOEFL iBT26以上(旧) TOEFL iBT2以上(新) TOEIC L&R245以上 GTEC480以上		ドイツ語技能検定４級 実用フランス語技能検定３級 中国語検定４級 KLAT（韓国語能力評価）１級 TOPIK（韓国語能力試験）２級 ハングル能力検定４級		日本漢字能力検定準２級 ニュース時事能力検定準２級	

注1) 担任の先生又は校長先生が記入してください。

注2) 実用英語技能検定（英検）は英検S-CBTを含みます。なお、デジタル証明書での提出は認められません。

注3) 提出すべき成績通知書は、TOEFL「Test Taker Score Report（Test Dateスコア)」、TOEIC「公式認定証」とします。

注4) (旧）は2026年１月20日までに受験した成績、（新）は2026年１月21日以降に受験した成績を対象とします。

注5) GTEC はオフィシャルスコアに限ります（CBT タイプを含む)。

上記の資格取得等申告のとおり、相違ありません。

年　　月　　日

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校長　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　印

地域創生学群用

受験番号	※

※欄は記入しないでください。

２０２６年　　月　　日

推薦書

北九州市立大学長　様

所在地

学校名

学校長名　　印

下記の者は、貴大学が定める推薦要件を備えていると認め、貴大学へ推薦します。

志　望	地域創生学群	フリガナ	
		氏　名	
		生年月日	年　月　日
推薦種別	該当するものに☑（チェック）を入れてください。 ☐　全国推薦　　☐　特別推薦		

（裏面へ）

志願者本人の学習歴や活動歴を踏まえ、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」それぞれの観点から、地域創生学群に対する適性等についてご記入ください。【720 字以内】

本書の記載事項に誤りがないことを証明する。

記載責任者名　　㊞

（注 1）作成は、「自筆で記入」又は「様式データに直接入力」してください。様式データに直接入力する場合、フォームの変更（枠の幅・高さを変更、ページ数を増やす、フォントの大きさを変更等）は、しないでください。

（注 2）Ａ４両面で印刷してください。

（注 3）必要事項の記入（入力）、学校長印・記載責任者名印の押印に漏れがないようご注意ください。

（注 4）特別推薦は、推薦要件（基礎要件）に該当する「活動実績一覧表」、「活動実績を証明する資料」（いずれも志願者が準備）を添付してください。

活動実績に関する資料（地域創生学群特別推薦用）

以下のものを志願者自身が作成の上、提出してください。

１） 活動実績一覧表

基礎要件に該当する活動等の実績の全てを一覧表にしたものをＡ４版で作成してください。一覧表には、下にある表の項目を書いてください。なお、その実績には、優れている順に「①、②、③・・・」と評価順位を付けて、その順番に記入してください。その際、優先順位は、「全国」レベル、「地方ブロック」レベル、「都道府県」レベルの順にしてください。

２） 活動実績を証明する資料

活動実績を客観的に示す資料として以下のものを添付してください。（特に書式は定めません。ただし、ＤＶＤなど、紙以外の資料の提出はご遠慮ください。）

（ア）競技や創作などの活動の場合⇒大会プログラムや公式報告書、新聞記事など

（イ）社会活動、ボランティアなどの場合⇒公的報告書、所属した団体・機関による推薦書など

志願者名が記載された資料など、志願者が該当の大会や活動に参加したことが分かる資料が必要です。また、必要に応じて、実績の内容が専門外の者にも分かるような資料や、各自で作成した資料も添付してください。

各資料には、活動実績一覧表のどの実績に対応するのかが分かるように、評価順位番号を記入してください。一つの実績に対応する資料が複数に及ぶ場合は「①（評価順位番号）－１、①－２・・・」などと記入し、ホッチキス等で綴じてください。綴じることが難しい場合は、ファイルなどに入れてください。

活動実績一覧表に実績ごとに記入すべき項目とその内容（例）

項　　目	記 入 す べ き 内 容	
	（ア）競技や創作などの活動の場合	（イ）社会活動、ボランティアなどの活動の場合
（１）評価順位	①、②、③・・・	①、②、③・・・
（２）学年	開催時の学年	活動時の学年
（３）年月	開催時期	活動期間
（４）種目名等	競技などの種目名、大会名、大会主催者名、開催地	活動内容（頻度、場所、対象者など）
（５）団体・個人の別	団体の場合、ポジションやパート及び役割や貢献度も記入	
（６）成績	順位や賞	表彰の名称や評価の内容など
（７）大会規模と実施団体	「全国」レベル、「地方ブロック」レベル、「都道府県」レベルのいずれかを記入	表彰や活動の主催団体
（８）参加者数・参加校・応募数など	競技参加人数・応募者数や参加校・応募校の数など	活動の参加者数など
（９）賞のレベルや性格	コンテストやコンクール、展示会などの受賞の場合、受賞した人数、学校数（例えば、「銀賞」受賞の時には、その上位の賞の受賞者（校）数についても記入）	表彰などの場合、表彰の理由、表彰者の数、他の表彰との位置づけ
(10)その他特記事項	活動の内容に応じて特筆すべきことがあれば記入	

（作成例）

活動実績一覧表

志願者氏名　　北九　太郎
高等学校名　　▲▲　高等学校
志望学部・学科等　　地域創生学群　地域創生学類

（1）評価順位	①	②	③
（2）学年	1年	2年	2～3年
（3）年月	●年●月●日	○年○月○日	△年△月～現在
（4）種目名等	第●回全国吹奏楽コンクール	第○回全日本高等学校選抜吹奏楽大会	福祉施設におけるボランティア活動 月1回、○○障害福祉センター 対象：重症心身障害児及び保護者
（5）団体・個人の別	団体参加 アルトサックス担当	団体参加 アルトサックス担当	高校内の有志メンバーによる団体参加 リーダーを担当し、メンバーをまとめ、センターとの連絡調整や保護者との連絡を担当した。
（6）成績	銀賞	優秀賞	活動証明
（7）大会規模と実施団体	全国レベル 全日本吹奏楽連盟	全国レベル 日本高等学校吹奏楽連盟	○○障害福祉センター及びセンター利用児の保護者
（8）参加者数・参加校・応募数など	全国から選抜された29校	全国から選抜された17校	毎回6人の有志で参加
（9）賞のレベルや性格	出場29校中金賞11校・銀賞11校・銅賞7校	出場17校中グランプリ1校・ゴールデン賞4校・優秀賞12校	
(10) その他特記事項	現在も吹奏楽部活動継続中です。		現在も活動中です。

／　枚目

＊　上記はあくまで作成例です。

＊　**活動実績を証明する資料を必ず添付してください。（団体での出場の場合、志願者本人が参加したことを証明できる書類も必要です。）**

様式４

入学希望理由書(地域創生学群 全国推薦・特別推薦用)

フリガナ	
氏　　名	

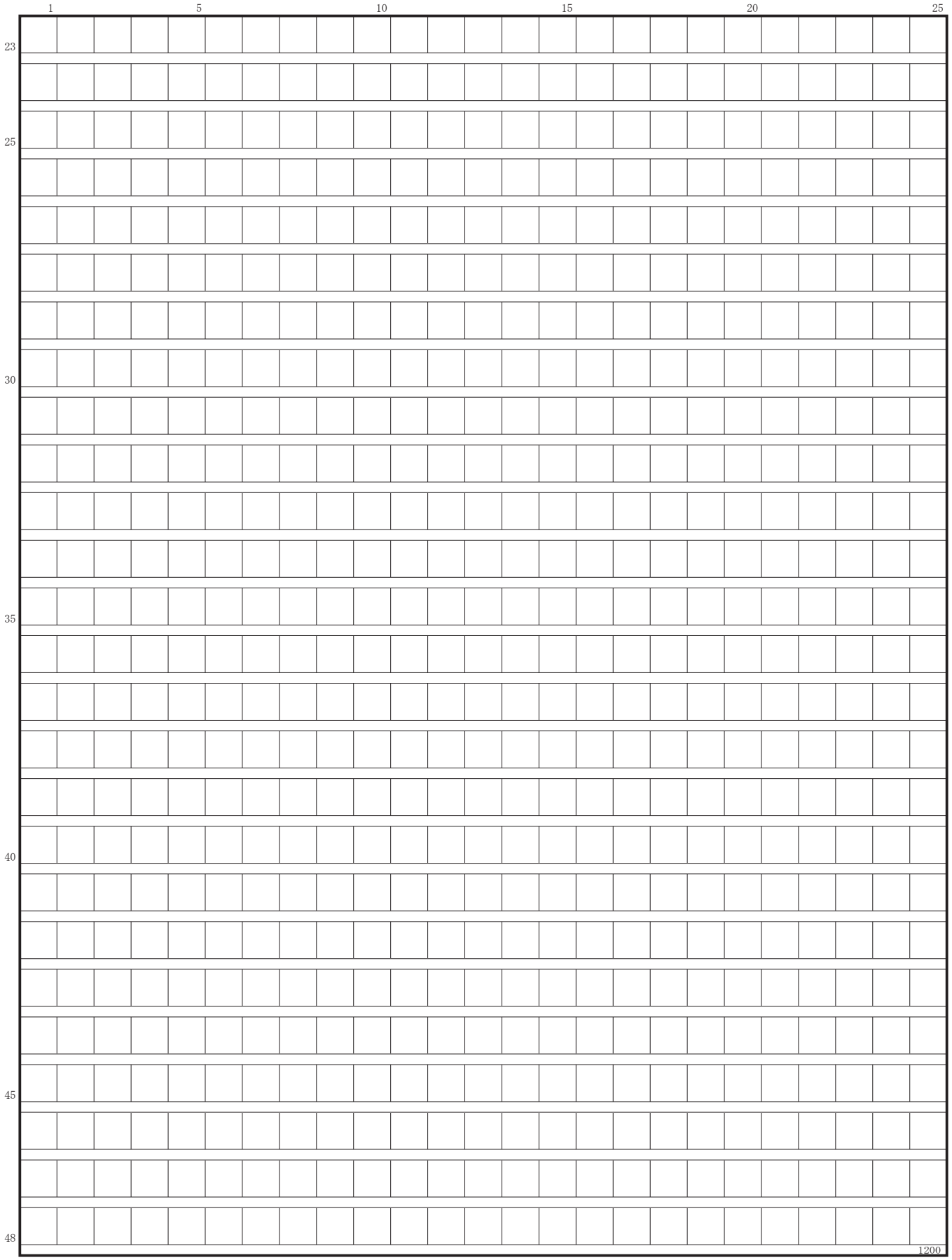
※

※印欄は記入しない

地域創生学群を志望した理由を1200字以内で自筆で記入してください。
(横書きで記入。鉛筆不可)

裏面へ

表面から



必ず両面印刷すること

地域創生学群・全国推薦用

全国推薦（地方創生推薦）出願時における事前課題

以下の課題についてレポートを作成し、出願書類と一緒に提出してください。プレゼンテーションの際に、提出されたレポートについて発表をしていただきます。

【課　題】

● 学校生活、地域での活動、日常生活、ニュースや身近な人との関わりなどを通して、あなたが関心を持つようになった社会課題を一つ挙げてください。その課題に関心を持った理由と、その課題に対して自分にできることはどのようなことか説明してください。

● 提出様式等留意点

用　紙：Ａ４用紙、縦向き、横書き

文字数：40文字×40行程度

余　白：上下左右25ｍｍ程度

枚　数：片面印刷で最大８枚まで（左上１か所をホッチキスで綴じること）

構　成：表紙（１枚）、本文（最大３枚）、添付資料（最大４枚）

その他：①表紙に表題、氏名を記載すること。

②レポートについては、本学ホームページから様式をダウンロードして作成すること。
（https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance-exam/）

③引用文献は必ず引用箇所を「　　」で明示し、出典を記載すること。

④本文とは別に何か参考資料や写真等を添付したい場合は、添付資料として扱うこと。図表は本文に含めることは可であるが、添付資料としても良い。（カラー・白黒は問わない。）

⑤当日のプレゼンテーションは、出願時に提出いただいた資料を用いて行っていただきます。

国際環境工学部用

受験番号	※

※欄は記入しないでください。

２０２６年　　月　　日

推薦書

北九州市立大学長　様

所 在 地

学 校 名

学校長名　　印

下記の者は、貴大学が定める推薦要件を備えていると認め、貴大学へ推薦します。

志　望	国際環境工　学部	フリガナ	
		氏　名	
	学科	生年月日	年　月　日
推薦種別	全国推薦		
添付書類	【生命工学科のみ】 該当するものに☑（チェック）を入れて、証明する書類の写し（コピー）を添付してください。（複数選択可）		
	☐　実用英語技能検定（英検） ☐　GTEC		

（裏面へ）

志願者本人の学習歴や活動歴を踏まえ、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」それぞれの観点から、在学中の学習姿勢、ならびに希望学科への適性等についてご記入ください。【720 字以内】

本書の記載事項に誤りがないことを証明する。

記載責任者名　　㊞

（注 1）作成は、「自筆で記入」又は「様式データに直接入力」してください。様式データに直接入力する場合、フォームの変更（枠の幅・高さを変更、ページ数を増やす、フォントの大きさを変更等）は、しないでください。

（注 2）Ａ４両面で印刷してください。

（注 3）必要事項の記入(入力)、学校長印・記載責任者名印の押印に漏れがないようご注意ください。

（注 4）生命工学科は、証明書類の写し（コピー）を添付してください。

様式５

入学希望理由書（国際環境工学部用）

フリガナ	
氏　　名	
志望学科名	

※

※印欄は記入しない

入学希望の理由を自筆で記入してください。（横書きで記入。鉛筆不可）

情報イノベーション学部用

受験番号	※

※欄は記入しないでください。

２０２６年　　月　　日

推薦書

北九州市立大学長　様

所 在 地

学 校 名

学校長名　　印

下記の者は、貴大学が定める推薦要件を備えていると認め、貴大学へ推薦します。

志　　望	情報イノベーション学部	フ リ ガ ナ	
		氏　　名	
		生年月日	年　　月　　日
推薦種別	該当するものに☑（チェック）を入れてください。 ☐ 全国推薦　　☐ 地域推薦		

（裏面へ）

志願者本人の学習歴や活動歴を踏まえ、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」それぞれの観点から、入学意欲及び勉学に対する適性等についてご記入ください。【720 字以内】

本書の記載事項に誤りがないことを証明する。

記載責任者名　　㊞

（注 1）作成は、「自筆で記入」又は「様式データに直接入力」してください。様式データに直接入力する場合、フォームの変更（枠の幅・高さを変更、ページ数を増やす、フォントの大きさを変更等）は、しないでください。

（注 2）Ａ４両面で印刷してください。

（注 3）必要事項の記入（入力）、学校長印・記載責任者名印の押印に漏れがないようご注意ください。

（注 4）資格取得等申告書（情報イノベーション学部・推薦書別紙）及び証明書（写し）を添付してください。

※

※印欄は記入しない

2027 年度　　資格取得等申告書（情報イノベーション学部・推薦書別紙）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校　　生徒氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

※本書は、出身学校長が作成し、推薦書とともに厳封してください。取得した資格等の右の欄に、**高校在学中**に取得した場合は◎印を、**それ以外の期間**に取得した場合は○印を記入してください。なお、①～④の同一グループ内で高校在学中に２つ以上の資格を取得している場合、◎印はそのうち最上位の資格のみに記入してください。◎印および○印を記入した資格については、必ず証明書の写し（コピー）を添付してください。証明書の写しの添付がない資格は、評価されません。

資格取得等一覧表（その１）

評価	①数学検定グループ	◎印又は○印	②情報処理検定グループ	◎印又は○印	③簿記検定グループ	◎印又は○印
SS	実用数学技能検定１級		応用情報技術者		日商簿記検定１級	
S	実用数学技能検定準１級		基本情報技術者		日商簿記検定２級	
A	実用数学技能検定２級 （評価は全国推薦のみ）		IT パスポート 情報ｾｷｭﾘﾃｨﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ		全商簿記実務検定１級	

注）記載している評価は、全国推薦では◎印に対するものです。評価は、資格試験の内容や社会情勢によって変更されることがあります。また、資格試験等の名称変更があった場合でも、実質的に同一のものとみなされる場合には従前の評価の対象となります。

資格取得等一覧表（その２）

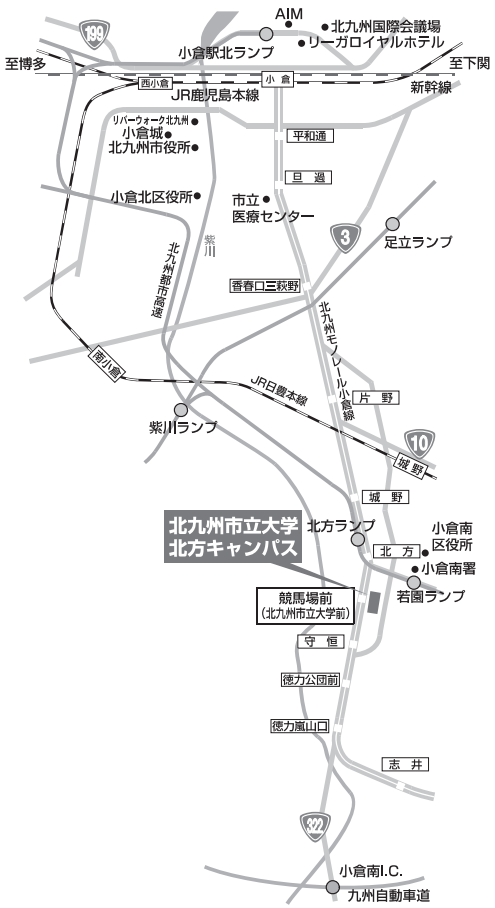
④北九州市立大学次世代科学技術チャレンジプログラム	◎印又は○印
北九州市立大学 GEEKK ゴールドバッジ	
北九州市立大学 GEEKK シルバーバッジ	
⑤上記以外の次世代科学技術チャレンジプログラム・数学コンクール・ロボットコンテスト等	◎印又は○印
修了証・賞状等(1) 修了証・賞状等の名称： 実施機関名： プログラムの内容またはコンクールの概要：	
修了証・賞状等(2) 修了証・賞状等の名称： 実施機関名： プログラムの内容またはコンクールの概要：	
修了証・賞状等が 3 件以上ある場合、その名称：	

上記の資格取得等申告のとおり、相違ありません。

年　　月　　日

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　高等学校長　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　㊞

外国語学部・経済学部
文学部・法学部
地域創生学群
情報イノベーション学部
試験会場



●北九州市立大学（北方キャンパス）

モノレール小倉駅
（小倉駅ビル３F）
↓ モノレール 約10分
競馬場前
（北九州市立大学前）
↓ 徒歩 約3分
北九州市立大学(北方キャンパス)

国際環境工学部
試験会場



●北九州市立大学（ひびきのキャンパス）

折尾駅バス停
↓ 西鉄バス 約20分 / 市営バス 約20分
学研都市ひびきの
↓ 徒歩 約2分
北九州市立大学（ひびきのキャンパス）

※バスの乗り場・行先番号については、最新情報を以下でご確認ください。

北九州市営バス
若松営業所
093-771-2765
向田営業所
093-691-0131

西鉄バス
西鉄お客さまセンター
0570-00-1010
050-3616-2150

※試験会場を間違えないでください。

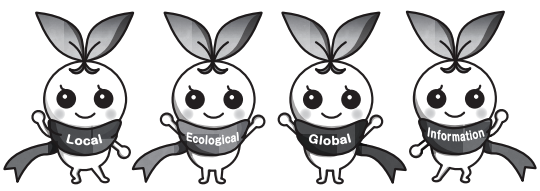
〈お問い合わせ先〉

北方キャンパス
(外国語・経済・文・法・情報イノベーション学部、地域創生学群)
〒802-8577
北九州市小倉南区北方四丁目２番１号
北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係
ＴＥＬ　093-964-4022
E-mail:nyushi2@kitakyu-u.ac.jp

ひびきのキャンパス（国際環境工学部）
〒808-0135
北九州市若松区ひびきの１番１号
北九州市立大学 学務課入学試験係
ＴＥＬ　093-695-3340
E-mail:nyushi@kitakyu-u.ac.jp

〔大学ホームページ　https: //www.kitakyu-u.ac.jp/〕

※受験票は11月16日（月）から印刷可能です。インターネット出題サイトの「申込確認」画面から印刷し、試験日当日に持参してください。



北九州市立大学 公式マスコットキャラクター
きたきゅっち